

地域活性化事業 事例集

(第3期:令和3年度～令和6年度)



幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

令和8年1月
地域振興部地域振興課

事例集の作成にあたって

地域活性化事業は、急激な人口減少や高齢化の急速な進行など中山間地域等を取り巻く環境が厳しさを増していたことから、このような傾向の著しい地域が抱える課題を解決し、地域の振興が図られることを目的に平成 25 年度からスタートした事業です。

第 1 期は、平成 25 年度から 28 年度までの 4 年間で、各総合支所に各 4 千万円を交付し、志和池地区、庄内地区、西岳地区、中郷地区に各 1 千万円を交付しました。

第 2 期は平成 29 年度から令和 2 年度までの 4 年間で、第 3 期は令和 3 年度から令和 6 年度までの 4 年間で、市内全 15 地区を対象にそれぞれ 1 千万円を交付しました。

第 4 期は、令和 7 年度から令和 10 年度までの 4 年間で、第 2 期・第 3 期と同様に市内全 15 地区にそれぞれ 1 千万円を交付し、それぞれの地区で活用いただいているところです。

このたび、各地区において第 3 期に実施した地域活性化事業の取組事例をまとめました。

各地区におかれましては、本事例集を活用し、今後の地域活性化事業立案の参考にしていただければ幸いです。

目次

暮らし・安全

【姫城地区】通学路安全推進事業.....	1
【小松原地区】可燃ゴミ集積所整備事業.....	2
【妻ヶ丘地区】環境整備支援事業.....	3
【妻ヶ丘地区】自主防災対策等推進事業.....	4
【妻ヶ丘地区】環境整備支援事業.....	5
【妻ヶ丘地区】環境整備支援事業.....	6
【祝吉地区】防災対策環境整備事業.....	7
【五十市地区】子どもの見守り活動充実事業.....	8
【五十市地区】防災福祉マップ作成事業.....	9
【横市地区】安心安全な横市まちづくり事業.....	10
【横市地区】防災支援事業.....	11
【横市地区】花でふれあう心のまちづくり事業.....	12
【横市地区】地域安全パトロール隊消耗品整備事業.....	13
【沖水地区】子ども見守り隊活動充実事業.....	14
【沖水地区】防災対策環境整備事業.....	15
【沖水地区】防災対策環境整備事業.....	16
【庄内地区】有害鳥獣対策事業.....	17
【庄内地区】防災対策環境整備事業.....	18
【庄内地区】防犯灯整備事業.....	19
【西岳地区】有害鳥獣対策事業.....	20
【西岳地区】生活道路環境整備事業.....	21
【山之口地区】非常用携帯無線整備事業.....	22
【山之口地区】交通安全・子ども見守り隊啓発のぼり旗作製事業.....	23
【高城地区】環境整備支援事業.....	24
【高城地区】見守り隊支援事業.....	25
【高城地区】災害時用食事提供資機材整備等事業.....	26
【高城地区】交通安全啓発推進事業.....	27
【高城地区】自主防災隊資機材整備事業.....	28
【山田地区】地域一体あいさつ&見守り活動啓発推進事業.....	29
【山田地区】環境整備事業.....	30
【山田地区】有害鳥獣対策事業.....	31
【高崎地区】見守り活動充実事業.....	32
【高崎地区】街路灯 LED電球更新事業.....	33

健康づくり

【姫城地区】健康増進事業.....	34
【姫城地区】健康増進事業（パークゴルフ）.....	35
【五十市地区】健康づくり支援事業.....	36
【横市地区】軽スポーツ交流事業.....	37
【沖水地区】健康づくり環境整備事業.....	38
【高城地区】健康づくり活動支援事業.....	39
【高崎地区】健康づくり増進事業.....	40

地域イベント

【姫城地区】三世代交流事業（ステージ・テント他）	41
【姫城地区】三世代交流事業（ステージ・スカート）	42
【妻ヶ丘地区】ふれあいまつり活性化事業	43
【祝吉地区】タイムカプセル開封事業	44
【五十市地区】イルミ&アートフェスタ開催事業	45
【横市地区】もちお公園夏まつり事業	46
【横市地区】まつり支援事業	47
【沖水地区】おきみず祭り活性化事業	48
【沖水地区】地域で祝う小学校150周年事業	49
【西岳地区】kokekonne（こけこんね）プロジェクト事業	50
【中郷地区】世代間交流支援事業	51
【山之口地区】人生チャレンジ講演会事業	52
【山之口地区】SDGsを楽しく学ぶ講演会開催事業	53
【山田地区】婚活レクリエーション事業	54
【高崎地区】がんばろう高崎復活祭事業	55
【高崎地区】縁結び促進事業	56
【高崎地区】高崎春まつり事業	57
【高崎地区】高崎北斗鍋フェスタ事業	58

地域福祉・子育て

【小松原地区】学習サロン支援事業	59
【妻ヶ丘地区】福祉活動充実事業	60
【祝吉地区】スマイルカフェ祝吉事業	61
【祝吉地区】スマイルカフェ祝吉事業	62
【祝吉地区】スマイルカフェ祝吉事業	63
【祝吉地区】スマイルカフェ祝吉事業	64
【横市地区】子ども体験プロジェクト事業	65
【横市地区】福祉活動充実事業	66
【横市地区】青少年育成協議会活動支援事業	67
【沖水地区】おきみずえほんステーション事業	68
【志和池地区】絵本読み聞かせ“志和っ池”事業	69
【西岳地区】読み聞かせ事業	70
【中郷地区】福祉活動支援事業	71
【山之口地区】からくり玩具チャレンジワークショップ事業	72
【高城地区】高城地域こども食堂事業	73
【高城地区】社会福祉活動支援事業	74
【高城地区】社会福祉活動支援事業	75
【山田地区】地域福祉人材育成研修会事業	76

自然

【小松原地区】ホタルの里づくり事業	77
【山之口地区】昆虫の森事業	78
【高崎地区】ほたるの里拡大事業	79

歴史

【姫城地区】島津灯ろう製作事業	80
-----------------	----

【志和池地区】歴史伝承プレート整備事業.....	81
【志和池地区】志和池古墳環境整備事業.....	82
【庄内地区】菓子野地下式横穴墓群看板設置事業.....	83
【庄内地区】庄内歴史読本作製事業.....	84
【庄内地区】昔を語る動画作製事業.....	85
【中郷地区】六ヶ村城跡地周辺整備事業.....	86
【山田地区】史跡環境美化事業.....	87
【山田地区】石川理紀之助交流事業.....	88
【山田地区】ふるさと探訪マップ発行事業.....	89
【高崎地区】木場城史跡公園環境整備事業.....	90

郷土芸能

【姫城地区】「中町祇園山車」伝統芸能存続事業.....	91
【姫城地区】伝統行事「祇園山車」存続事業（上町）.....	92
【山之口地区】VRゴーグル整備事業	93
【山之口地区】弥五郎どん祭り保存伝承事業.....	94
【山之口地区】ふれあい民俗芸能祭開催事業.....	95
【高城地区】高城町史等書籍電子化事業.....	96

地域活動の充実

【妻ヶ丘地区】まちづくり協議会PR事業.....	97
【祝吉地区】文化活動活性化事業.....	98
【五十市地区】まちづくり物品庫整備事業.....	99
【横市地区】まちづくり協議会ホームページ作成事業.....	100
【横市地区】青少年健全育成支援事業.....	101
【横市地区】広報宣伝活動充実事業.....	102
【横市地区】自治公民館備品充実支援事業.....	103
【沖水地区】おきみず文化マップ制作事業.....	104
【志和池地区】開催行事支援事業.....	105
【志和池地区】地域ふれあい文化振興事業.....	106
【志和池地区】新発見パネル整備事業.....	107
【志和池地区】まちづくり環境整備事業.....	108
【西岳地区】文化交流事業.....	109
【西岳地区】公民館いきいき環境整備事業.....	110
【西岳地区】地域環境整備事業.....	111
【中郷地区】PR事業.....	112
【中郷地区】PR看板整備事業	113
【山之口地区】山之口よかとこPRビデオ製作事業.....	114
【山之口地区】リモートコミュニケーション事業.....	115
【山之口地区】山之口よかとこマップ作成事業.....	116
【山之口地区】山之口PRパフォーマンスロボット製作事業.....	117
【山之口地区】山之口PRパフォーマンスロボットインテリジェント化事業.....	118
【山之口地区】観光施設バーチャルツアー製作事業.....	119
【高城地区】まちづくり協議会活動充実事業.....	120
【高城地区】有水地域活性化事業.....	121
【高城地区】イベント推進事業.....	122
【高城地区】ふるさと教育推進事業.....	123
【高城地区】有水地区地域交流活性化事業.....	124

【山田地区】広報誌発行事業.....	125
【山田地区】イベントカレンダー作成事業.....	126
【高崎地区】民生委員児童委員活動充実事業.....	127
【高崎地区】「たかざき MAP」リニューアル事業	128
【高崎地区】たかざき施設案内パネル設置事業.....	129

参考資料

地区別年度別事業一覧.....	130
-----------------	-----

通学路安全推進事業



取組地域：姫城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,276,880円（基金活用額 1,276,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

○姫城地区は、3つの小中学校（姫城中・明道小・南小）があるが、市の中心地であり車の交通量も多い。

○平成30年度の地域活性化事業において、姫城地区内3校周辺の通学路の電柱20本に「通学路注意」等の看板を設置して、通行車両に注意喚起を促し、子どもたちの交通事故防止や地域安全への取組を開始したが、電柱広告の掲出期間終了を迎えるに当たり、更新が必要となった。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○交通量が多いが、地域活性化のために、姫城地区の地域の宝である子ども達の登下校に対する「安心・安全」を守ることに貢献している。

今後の課題・アドバイス等

○電柱広告の掲出期間は5年間のため、5年毎に更新する必要がある。

小松原地区可燃ゴミ集積所整備事業



取組地域：小松原地区

取組年度：令和4～6年度

事業主体：小松原地区まちづくり協議会

事業費：8,832,550円（基金活用額 8,440,000円）

問合せ：☎24-1900

課題・取組の概要

- 小松原地区内の可燃ゴミの路上集積所は203か所に上っている。
- カラス・猫によるゴミの散乱等、周辺の生活環境を良好に維持することが地域の課題となっていた。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 令和元年度：公民館長会で先進地視察（長崎県島原市）
- 令和4年度：市環境業務課・維持管理課と協議しながら、試作品を作成し、12基（9か所）に設置
利用者に、使用方法等のアンケート調査を実施
- 令和5年度：65基（47か所）設置
- 令和6年度：39基（29か所）設置

今後の課題・アドバイス等

- 利用者からは、生活環境の改善につながっており、設置箇所を増やして欲しいとの声がある。
- ゴミストッカーの保守契約等、今後の維持管理について明確にする必要がある。
- 台帳等の整備

妻ヶ丘地区環境整備支援事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和5年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：2,053,000円（基金活用額 2,053,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 地区住民の高齢化と人口減少に伴い、各自治公民館などで実施している公園等の草刈作業の実施に支障が生じていた。
- 除草作業の効率化と安全性の向上を図るため、乗用草刈機2台を導入するとともに、乗用草刈機の使えない樹木周辺の作業にも対応できるよう刈払機6台を配備

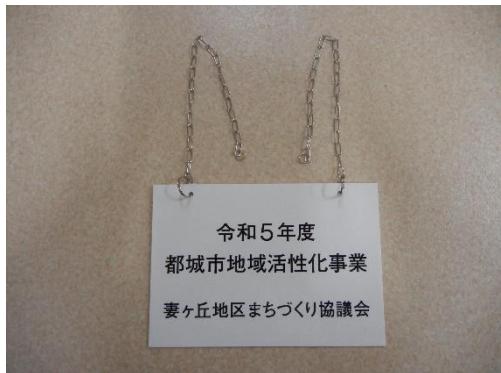
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 草刈機材の整備によって、各自治公民館などで実施している草刈作業の負担軽減と安全性の向上が図られることにより、地域の環境整備が推進された。
- 草刈機材の管理・運用が適切に実施できるよう要綱を制定し、予算は特別会計とした。

今後の課題・アドバイス等

- 今後は、機材の管理・運用をしながら、要綱や予算などの見直しを適宜行い、より適切な管理・運用の方法を検討していく必要がある。
- 更新費用についても検討が必要である。

妻ヶ丘地区自主防災対策等推進事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和5年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：4,014,450円（基金活用額 4,014,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 災害時における高齢者・障がい者といった避難行動要支援者や負傷者の搬送、救援物資や水などの運搬などへの対応により、自主防災力の充実を図る必要があった。
- 折りたたみ式リヤカー（担架付き）を各自治公民館へ1台ずつ配備

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 災害時の避難行動要支援者や負傷者等の搬送、救援物資・水などの運搬に活用できるほか、平常時には、地域の各種イベントにおける機材運搬や環境美化活動における刈草の搬出などにも活用
- 市議会総務委員会から「平常時からの活用が緊急時の活用につながることや、自治公民館の加入促進や自主防災組織の構築につなげること」との意見・要望があったことを受け、地域住民への周知と有効活用を図るためにリヤカーに事業名入りのプレートを取り付けた。

今後の課題・アドバイス等

- 平常時から地域の環境整備や各種イベント等に活用することで災害などの緊急時にも活用できるようにしていきたい。また、地域の皆さんに見える形でリヤカーを有効活用することで、自治公民館の加入促進や自主防災組織の構築にもつなげたい。

環境整備支援事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和6年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：266,000円（基金活用額 266,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 各自治公民館が実施している公園等の草刈作業の効率化や負担軽減のため、令和5年度に乗用モア等草刈機材を購入したが、乗用モアについて維持管理、清掃整備が必要になったため、作業前、作業後にブロワーによる清掃作業を実施することにしたもの。
- 刈った草を効率よく集めるために集草機を活用し、作業時間の短縮と作業の効率化を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ブロワーを2台購入し、乗用モアを使用する際はセットでの貸出しを行い、乗用モアの清掃及び後始末をしてもらう。
- 必要があれば単体でも貸し出し、作業効率をあげる。
- 自治公民館、壮青年部や高齢者クラブが地区内の公園等の草刈りを請け負っており、機器の貸出しにより、労力と時間の削減が図られ、参加者の負担軽減に寄与している。

今後の課題・アドバイス等

- 集草機については、効率性がどれくらい向上するのか不明であったため、今回1台の購入にとどめた。今後1年間の使用頻度をみて追加購入を検討する。

妻ヶ丘地区環境整備支援事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和6年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：2,881,306円（基金活用額 2,881,306円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- まちづくり協議会の備品を収納している倉庫が古くなったため、地区公民館建て替えに合わせて撤去し、新たな倉庫を設置する必要がある。
- 令和5年度に購入した乗用モアや刈払機などの備品や資材等を収納するため、これまでより広いスペースが要る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 品物を整理して、効率よく収納できるように、また取り出せるように棚を製作し、会員の利用を促進する。
- まち協所有の機材や資材だけでなく、まち協傘下の団体の機材等も収納し、出し入れの利便性を図る。

今後の課題・アドバイス等

○雨天等の機材取り出しのため、今後照明設備は必要である。

○シャッターの開閉については、鍵式ではなく暗証番号式が好ましい。

祝吉地区防災対策環境整備事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和6年度

事業主体：祝吉地区まちづくり協議会

事業費：2,230,410円（基金活用額 2,183,000円）

問合せ：☎23-2890

課題・取組の概要

- 近年、大型台風や大地震による災害が各地で頻発している。
- 災害が発生した場合、各種インフラが寸断され、電気や水道など生活に必要不可欠なものが失われる恐れがある。
- 日常生活を営む上で最低限必要な電気が停電した場合に備え、発電機等を常備し、緊急時に対応する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 祝吉地区内の自治公民館18か所及び地区公民館の合計19か所に発電機を購入し配置した。
- 発電機を常備することにより、情報収集に欠かせないテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォン、夜間の照明等を継続して利用できる。
- 発電機を使用するために必要なエンジンオイルやガソリン携行缶、電源コードリールも併せて購入した。
- 災害時に火災が発生した場合に備えて、初期消火のための消火器も設置した。

今後の課題・アドバイス等

- 夏の災害時に、直ちに発電機を使用できるよう備えておく必要がある。そのため、発電機にオイルを充てんし日頃から試運転を定期的に行う事が望まれる。
- 発電機運転に必要不可欠なガソリンを常備しておく必要がある。

子どもの見守り活動充実事業



取組地域：五十市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：五十市地区まちづくり協議会

事業費：735,000円（基金活用額 735,000円）

問合せ：☎23-2184

課題・取組の概要

○児童・生徒は地域で見守り、育もうという「環境防犯部会」のスローガンのもと、登校の際に横断歩道等で「あいさつ」とともに児童・生徒の安全を確保するもの。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○毎年、まち協で行う「学校訪問」において、各学校長からお礼の言葉をいただき、各校との連携強化につながっている。

今後の課題・アドバイス等

○今後もさらに見守り箇所を増やして、児童・生徒の安全に努める。

防災福祉マップ作成事業



取組地域：五十市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：五十市地区まちづくり協議会

事業費：149,000円（基金活用額 149,000円）

問合せ：☎23-2184

課題・取組の概要

○防災マップ及び福祉マップを平成13年に作成しており、現状との相違が随所に見受けられるようになっているため、今回見直しを行い、現状に合わせ1枚に統合して防災福祉マップとしてリメイクする。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○管内の学校、福祉施設等に配布したところ、非常に重宝しているとの声をいただいている。

今後の課題・アドバイス等

○今後、5年程度のスパンで更新が必要である。

○地区住民に対してマップを使って、避難訓練等を計画したい。

安心安全な横市まちづくり事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：1,147,290円（基金活用額 1,123,320円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 子どもに対する声掛け事案が発生していた。
- 不審火が何回も発生した事案もある。
- 防犯カメラを設置することにより、犯罪を抑止し、安全安心な横市にする。
- 西小学校、明和小学校及び不審火のある住宅街3か所に設置

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 校庭内に設置するため、学校、教育委員会の承諾
- 近隣住民への周知
- 防犯カメラ映像データの利用に関する基準の作成
- 警察署と防犯カメラの映像提供に関する協定書の締結

今後の課題・アドバイス等

- 緊急時（警察からの依頼等）に対応できる組織体制の構築
- 運用に要する経費を考慮した機器の選択（電気代は一体型が安価）
- 機器更新時の経費

横市地区防災支援事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：1,954,920円（基金活用額 1,905,620円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 災害時に集会用テント（通常のテント）を組み立てるのは困難であるが、少人数でも組立てられるワンタッチ組立テントを有している自治公民館はない。
- 横市地区には広域的に避難情報等を周知できる設備がない。
- 簡易テント及び車載広報拡声器を各自治公民館に配備する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- テントについては、災害時の初期に少人数しか動けないことを想定しており、軽く簡易なものを選定した。
- 広報拡声器については、自動車があればすぐ使える車載広報拡声器とした。
- テントについては、地区の行事でも使える。
- 広報拡声器については、災害以外の広報にも使える。

今後の課題・アドバイス等

- これからは防災訓練で実際に使用する等の訓練を行い、災害の際に活用できる体制を作る必要がある。

花でふれあう心のまちづくり事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和5年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：431,780円（基金活用額 429,000円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区内の各種施設等に花の苗を配布する。
- 横市地区まつりにおいて、来場者にビオラ苗を無料配布する。
- 横市地区を花がいっぱいな地域にするとともに、横市地区の環境意識の向上を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 横市地区の各種施設から大変喜ばれている。施設内の環境美化はもちろん、施設利用者の環境意識の向上に寄与している。
- 地区まつりでの花の苗配布は大変好評で、たくさん的人が来場された。環境美化とまつりのにぎやかさの創造にも役立っている。

今後の課題・アドバイス等

- 継続したい事業ではあるが、経費がかさむため、事業を縮小して継続していきたい。

地域安全パトロール隊消耗品整備事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：66,113円(基金活用額 51,504円)

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 地域安全パトロール隊のレインコートは劣化のため雨の染込みが生じて、パトロール隊員が苦慮している。
- レインコートの補充を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 用具は西小・明和小校区の安全パトロール隊が、登校見守りで使用している。
- 横市地区社会福祉協議会に保管及び地域安全パトロール隊への配付を依頼

今後の課題・アドバイス等

- ボランティア活動や地域安全活動等で用具の有効活用を図る。
- 消耗品のため、適宜、補充する必要があるが、確保された財源はない。

子ども見守り隊活動充実事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和3年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：1,767,920円（基金活用額 1,767,150円）

問合せ：☎ 38-1033

課題・取組の概要

- 各自治公民館で子ども見守り隊を組織し、登下校時の子どもたちの「安全・安心」を見守っているが、横断旗を除いて貸与しているベスト等の傷みや汚れにより、新規隊員へ貸与できなくなっている。
- 新たに、帽子とベストをそれぞれ120枚、ブルゾンとレインウェアをそれぞれ150枚購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ベスト等を着用することで車両運転者や歩行者へ交通安全の啓発につながり、見守り活動も安心して対応できる。
- 改めて見守り隊員を調査し、活動している127人へ防寒用ブルゾンとレインウェアを貸与し、残りは予備、新規隊員用とした。ベストと帽子は新規隊員と交換が必要な隊員に貸与することとした。

今後の課題・アドバイス等

- 消耗品であり、更新や補充に費用が必要となる。
- 地域によっては高齢等により見守り活動ができる人が増えつつあり、見守り隊員として人材の確保も課題となっている。

防災対策環境整備事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和3年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：279,180円（基金活用額 279,180円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 各自治公民館に常備している防災用ヘルメットが老朽化し、耐用年数を経過していた。
- 令和2年度に防災用ヘルメットを120個購入し、各自治公民館に10個ずつ配備したが、役員数に対する不足があり、購入要望があったため、令和3年度に更に120個購入し、各自治公民館に10個ずつ配備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 防災意識の向上
- ヘルメットは各自治公民館で管理し災害時に活用する。
- 地域住民の高齢化により、今後も安全確保の避難時に誘導し、支える方に対して、ヘルメットが必要になる。

今後の課題・アドバイス等

- 耐用年数を考慮して、適切な時期に更新できるように財源確保を検討する必要がある。
- 耐用年数が経過したヘルメットの対応と未利用時でもヘルメット交換は必要なのかを十分検討する必要がある。

防災対策環境整備事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和5年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：3,822,324円（基金活用額 3,822,324円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 近年発生している自然災害や非常時における地域住民の安全安心を確保する必要がある。
- 各自治公民館に発電機1台、LEDライト2台、ドラム式延長コード2個、ガソリン携行缶1個の防災資機材を12地区の自治公民館に配備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 防災資機材を12地区の自治公民館に配置することで、災害時における地域住民の安全安心を確保することができた。
- 防災意識の向上につながった。
- 配備した防災資機材は、各自治公民館で維持管理する。

今後の課題・アドバイス等

- それぞれの自治公民館で防災資機材を活用した防災訓練や災害時における住民間の共助の体制構築が必要となる。
- 防災資器材の定期的な維持点検管理が必要となる。

有害鳥獣対策事業



取組地域：庄内地区

取組年度：令和3～6年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：426,700円（基金活用額 426,020円）

問合せ：☎37-3488

課題・取組の概要

○本事業は平成30年度から継続事業として、田畠に被害を与える通学路に出没しているイノシシ・シカを駆除するため、地域住民の有志者が捕獲班を結成したり、罠猟免許を取得し、囲い罠及びくくり罠での捕獲に取り組んでいる。

○近年限定的だったイノシシの出没地域が住宅地へも拡大し、民家の庭先まで出没している状況にある。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○令和3年度に追加購入した囲い罠は、住宅地にも設置しやすいコンパクトサイズで利便性が高い。

○事業開始から令和7年3月31日までの捕獲数はイノシシ73頭、シカ8頭である。

今後の課題・アドバイス等

○本事業を継続して推進するため、引き続き施設賠償責任保険に加入するものである。

○今後も、整備した罠等を有効活用し、住民が安心して暮らせる環境づくりを推進していく。

防災対策環境整備事業



整備した防災資機材

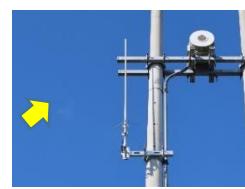
取組地域：庄内地区

取組年度：令和5～6年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：6,931,419円（基金活用額 6,930,000円）

問合せ：☎37-3488



サイレン塔に設置したアンテナ

課題・取組の概要

- 令和2年度に整備した初期救助支援用品、避難所運営支援用備品等に加え、令和5年度に各公民館の自主防災隊の活動に必要な防災資機材の整備を行い、令和6年度には大規模災害に備え、発災時の一時的な避難所として、各自治公民館及び分館の防災体制を充実させるべく、必要な防災資機材を整備し、地域の防災体制の拡充を図った。
- また令和6年度には、各自治公民館自主防災隊の活動に必要となる無線機が円滑に交信できるよう、庄内地区公民館敷地内サイレン塔にアンテナを設置し、被害や避難状況の情報共有が図れる環境を構築した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 自然災害により家屋倒壊や道路封鎖等を想定し、人命救助や復旧活動に必要な資機材を整備した。また、防災用無線機及びアンテナの整備により、地域で発生している情報の共有化が図れる体制を図った。
- 各自治公民館に必要な資機材を整備するが、以後の資機材等の管理は自治公民館が主体となって行う。

今後の課題・アドバイス等

- 防災用無線機を含む防災資機材については、防災訓練等をはじめとする地域行事等でも広く活用し、普段から使い慣らすことで、発災時に問題なく使えるようにしておく。

防犯灯整備事業



取組地域：庄内地区

取組年度：令和5年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：330,000円（基金活用額 330,000円）

問合せ：☎37-3488

課題・取組の概要

○地区内の中学生・高校生が利用する通学路で街灯がなく人家が少ない区域に、防犯と交通安全対策のため街灯を設置した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○街灯設置が必要な箇所を自治公民館ごとに調査し、5自治公民館内に23基の街灯を設置した。

○設置後の維持管理費については、隣接する自治公民館間で協議・調整を行った。

今後の課題・アドバイス等

○街灯設置後の維持管理費については、各自治公民館が負担することや隣接する自治公民館で費用負担を協議して決めることを周知して取組むと調整がスムーズとなる。また、この取決めの手法を記録に残し、引継いでいく必要がある。

有害鳥獣対策事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和4年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：355,300円（基金活用額 352,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

○西岳地区は山林が近くに存在するため、イノシシ・シカが田畠や住宅近郊に多数出没し、田畠被害及び通学路の安全が確保できない状況となっている。

○西岳地区的2つの猟友会（西岳猟友会、夏尾猟友会）にまちづくり協議会で購入したくくり罠38セットを貸与し、イノシシ・シカを多数捕獲し西岳地区の安全及び生活環境の充実を図った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○西岳地区猟友会と意見交換を行い、使いやすく、修繕対応もし易いくくり罠の選定を行った。

○どの猟友会メンバーに何セットずつ配布するかを自治公民館長及び猟友会で検討した。

今後の課題・アドバイス等

○くくり罠の貸出簿を整理して貸し出すことと、丁寧に扱ってもらい修理もお願いしていくことが長期的使用のためには大事である。

○西岳地区的超高齢化に伴い、今後の猟友会メンバー確保が問題となっている。

西岳地区生活道路環境整備事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和5～6年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：2,644,431円（基金活用額 2,557,500円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区では集落と集落を結ぶ市道・生活道の延長距離が長く、市役所の管理だけでは行き届かない箇所も多く存在している。そのため、山間部においては山側からの迫り出した木々が支障となり道路も暗く、また、枯れ枝葉の堆積により通学・通勤に不安が生じている状況である。
- 本事業により今後も西岳地区の人々が安心して地区間交流ができるように自治公民館有志による道路整備もしくは委託業者との連携による道路整備を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各自治公民館の事情により、道路整備の優先順位をつけることに時間を要した。
- 人件費、機械リース代等の統一単価決定が重要ポイントの1つとなる。

今後の課題・アドバイス等

- 自治公民館長を中心に道路整備メンバーを集めることが一番重要である。
- 雑木伐採の地権者協議は大勢で検討していく。

非常用携帯無線整備事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和3年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：375,320円（基金活用額 375,500円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 都城市に配備されている地域振興無線は基地局経由となるため、青井岳・永野地区など山間地域は通信状況が悪く、難聴地区となっており、連絡体制の強化を図る必要があった。
- 非常用携帯無線機を10台購入し、消防団に貸出を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 無線端末で直接通信を行える機器を導入し、通信を補えない地域の連絡体制を整備した。
- 非常用携帯無線機を10台購入し、消防団に貸出を行っている。
- 難聴地区だけではなく、各地域公民館長に貸出を行えるように体制を整えた。

今後の課題・アドバイス等

- 機材の管理を確実に継続的に行うことが重要となる。

山之口地区交通安全・子ども見守り隊啓発のぼり旗作製事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和4年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：253,000円（基金活用額 195,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 市民及び児童・生徒を交通事故から守るため、沿道や登下校時の通学路等にのぼり旗を設置し、地区内の交通安全協会並びに子ども見守り隊の啓発のためのぼり旗を作製

成果・事業の特徴・工夫したこと

- まちづくり協議会のロゴマーク、山之口のイメージキャラクターを入れて、二種類ののぼり旗の作製を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 設置に当たっては、都城地区交通安全協会山之口支部及び各小学校子ども見守り隊と連携して実施する。
- 管理はまちづくり協議会で行う。経年劣化のため定期的な更新、補充が必要となる。

高城地域環境整備支援事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和4年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：1,248,170円（基金活用額 1,248,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

○高齢化や人口減少によりPTA活動や地域の公民館活動における清掃作業に支障がでている。乗用草刈機を整備することで、作業の安全性を確保し、効率的に作業を進めることができる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○整備した乗用草刈機は、高城地区まちづくり協議会が管理を行い、高城地区内の自治公民館、PTA等に貸与していく。

○また、機械を大切に使用していただくために「乗用草刈機貸出要綱」や乗用草刈機安全のポイントを作成した。

○年1回は、販売業者に定期点検を依頼する。

今後の課題・アドバイス等

○乗用草刈機は、使用者が燃料を満タンにして返却していただき、無料で貸し出すことにしている。維持管理費用はまち協で負担することにしているが、修理費用が高額になったときの負担について、検討する必要がある。

高城地区見守り隊支援事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和4年度

事業主体：高城地区青少年育成連絡協議会

事業費：277,200円（基金活用額 277,000円）

問合せ：☎58-2303

課題・取組の概要

○高城地区の見守り隊は、高城、石山、有水の3地区の小学校、自治公民館長、民生児童委員、高齢者クラブ会員等が中心になり、児童生徒の毎日の登下校時の見守り活動を1年間通して実施している。

○見守り隊は、安心安全な明るいまちづくりに積極的に参加しており、この活動を支援することを目的としている。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○統一したベストを整備することで、通行車両等に見守り隊が活動していることを周知することができた。

今後の課題・アドバイス等

○見守り隊には任期がなく、ベスト等は貸与としているが、消耗品であるので、更新するタイミングと財源を考慮しなければならない。

災害時用食事提供資機材整備等事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和4年度

事業主体：都城市食生活改善推進員連絡協議会 高城地区

事業費：368,280円（基金活用額 368,000円）

問合せ：☎59-9306

課題・取組の概要

○被災者への食事提供を迅速に行うために移動カマドやアルファー米等の資機材等を整備し、地震や水害などによる大規模災害等に備えた体制を構築した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○避難所では、被災者等への食事の提供に際し、「栄養補給」「衛生管理」「心のケア」「アレルギー体質など食事配慮が必要な人へのケア」に留意しなければならない。災害時のニーズは、時間の経過とともに変化していくが、避難生活を少しでも元気に過ごしていただくために食に関する資機材等の整備を進めた。

今後の課題・アドバイス等

○整備完了後は、高城地区的防災研修会等に参加し、屋外での炊き出し訓練を実施し、大規模災害等に備える必要がある。

高城地区交通安全啓発推進事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：都城地区交通安全協会高城支部

事業費：181,500円（基金活用額 181,000円）

問合せ：☎58-4172

課題・取組の概要

- 都城地区交通安全協会高城支部には、7班があり、交通安全運動期間中は、街頭啓発やのぼり旗を掲揚し、積極的に交通安全啓発の活動を行っている。
- 高城支部では、啓発用ののぼり旗を毎年、各班に数枚配布しているが、老朽化しているものが多い。
- 今回、啓発用ののぼり旗を整備することで、運転者及び歩行者の交通安全意識の向上を図り、今後の活動を効果的なものにしていく。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- のぼり旗を整備し、交通安全啓発を推進することにより、安心して生活できる環境をつくり、地域の交通安全意識の向上を図ることができる。

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗は、交通安全期間に国・県・市道沿いに啓発用として掲揚しているが、雨ざらしであり、消耗品であるので、更新するタイミングと財源を考慮しなければならない。

高城地区自主防災隊資機材整備事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：1,064,260円（基金活用額 1,064,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

- 高城地区では、自主防災隊の資機材点検や資機材を活用した訓練を毎年、開催している。今後は、安全な場所への避難など、災害時に行動の支援を要する要配慮者を対象とする訓練の開催を計画しており、次の資機材を整備する。
- 要配慮者の生命及び身体を守るために車いす利用者の避難を手助けできる器具「着脱式車いすの緊急避難装置」と災害時の緊急避難等に活用できる「アルミ製折りたたみ式リヤカー」を整備する。集落では、高齢化や人口流出により過疎化が進み、自主防災隊と消防団との連携した活動は、欠かせないものとなっているので、資機材の整備を消防団8部及び1福祉避難所（高城生涯学習センター）の9か所とする。
- なお、整備する資機材の通常の管理は、消防団各部の設置先である自主防災隊とする。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 本事業で資機材を整備することにより、災害時等の非常時に要支援者の迅速かつ的確な支援が実施でき、防災力の向上を図ることができる。

今後の課題・アドバイス等

- 地域のイベント等を活用し、災害時の緊急時にも活用できるように操作について定期的な訓練を実施する必要がある。

山田地区地域一体あいさつ＆見守り活動啓発推進事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和4年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：303,694円（基金活用額 300,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 「山田中との交流会」事業において、生徒からの標語募集事業の提案を反映した事業
- 啓発事業

- ・あいさつ・見守り・通学路安全にちなんだ標語を住民や児童・生徒から募集
- ・募集された標語を審査し、優秀作品を表彰（3部門 最優秀賞、優秀賞、入選）

○推進事業

- ・優秀作品となった標語を掲載したのぼり旗を製作し、今後の活動などで啓発に使用
- ・各団体の見守り活動を地域住民一体で実施できるようのぼり旗を掲揚して事業に活用

成果・事業の特徴・工夫したこと

○備品制作

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1 のぼり旗 計 120 本 | 2 ポスター すべての入選作品を掲示 |
| 3 短冊 各部門の最優秀賞、優秀賞を 1 点ずつ掲載 計 9 種類作成 | |

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗の生地が薄く、耐久性に問題あり
- 2学期、3学期のみ実施しているが、1学期実施の検討（委員が交代しているため）

山田地区環境整備事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：321,915円（基金活用額 320,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 地区内の駅周辺や商店街、道路等の環境美化及び整備に取り組んでいる団体を支援することで、活動の活性化を図る。
- 小学生から高齢者までの幅広い方に参加してもらい、活動への参加意識を高め、活動を通じて交流を深め、人ととの連帯を育む。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 団体に対し、花の苗やプランター等を配付し、取り組みを支援することで活動の活性化を図る。
- 6団体の応募者に対して培養土、プランター、花の苗、一輪車、園芸用品などの購入支援
- 周知期間が短かった。

今後の課題・アドバイス等

- 事業の着手が遅く、季節が冬になり、植栽できる花が限定的になった。
- 先着順に許可したため、予算超過後の応募に対応できず、次年度への課題になった。

山田地区有害鳥獣対策事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：340,000円（基金活用額 340,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 近年山田地区内において、イノシシが生息し、田畠の作物に被害を与えるのみならず、通学路近くに出没したケースもあり、大変危険である。
- くくり罠を購入した後、猟友会に貸与し、設置することにより、イノシシ、シカ等から田畠の被害や通学路の安全を確保して地区の安全及び生活環境の維持充実を図る。
- イノシシ等捕獲のためのくくり罠を38セット購入し、地区猟友会メンバーでわな免許を持っている方に配布

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 該当区域内の有害鳥獣（イノシシ、シカ等）を捕獲・駆除する。
- 当年度の捕獲状況：イノシシ（8頭）、シカ（14頭）
- 農作物への被害軽減及び児童・生徒、高齢者等の身の安全が確保でき、地元及び猟友会から喜びの声が上がっている。

今後の課題・アドバイス等

- くくり罠設置場所の住民への説明。罠の表示が小さいため、住民が怪我をする恐れがある。
- くくり罠の維持管理

高崎地区見守り活動充実事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：1,100,505円（基金活用額 1,100,505円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 高崎地区内小中学校6校では、登下校時、PTAや地区のボランティア等による学校ごとの見守り活動を実施している。
- 統一したジャンパーや帽子等を着用することで、従事者の自覚と安全確保を図るとともに、児童・生徒も安心して接することができる。
- ジャンパー、ベスト、帽子をそれぞれ65枚、交通安全旗（指導旗）を90本購入。

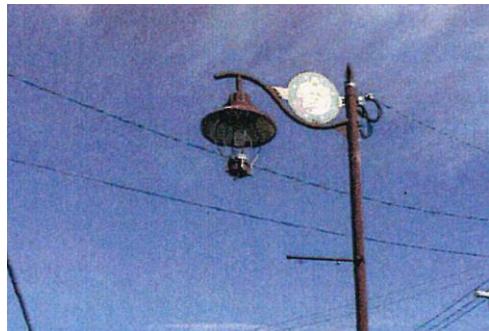
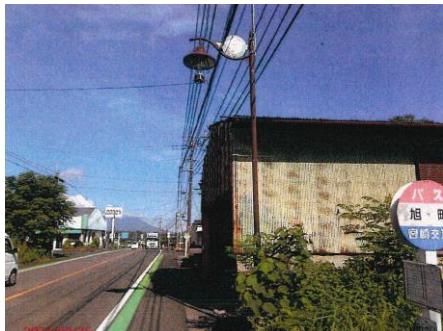
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 統一したジャンパーや帽子等を着用し、交通安全旗（指導旗）を使用することで、従事者の自覚と安全確保が図られ、児童・生徒も安心して接することができる。
- 地区住民や通行するドライバー等への交通安全の啓発につながる。
- 活動場所等は各小中学校と協議し、それぞれの団体や個々の主体性を尊重し取り組む。

今後の課題・アドバイス等

- 購入後の維持管理、更新時の費用等については、各団体等で負担する必要がある。

高崎地区街路灯 LED 電球更新事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎町商工会

事業費：2,455,643円（基金活用額 2,440,000円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 高崎町商工会が管理している街路灯は、商店街の活性化を図る一方で、町民の防犯・交通安全対策上も必要不可欠なものである。
- 現在の街路灯は平成21年度に設置したもので、既に電球が切れているところもあり早急にLED電球の交換を行う必要があった。
- 商工会が管理している街路灯のうち、優先順位の高い32基のLED電球更新を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 現在のLED電球は既に製造中止されていたため、ソケット付台座の交換を行った上でLED電球交換を行った。
- 従来の電球と比較して非常に明るくなり、夜間における防犯対策、交通安全対策に寄与している。

今後の課題・アドバイス等

- 交換の必要な街路灯が32基残っており、計画的に更新を行う必要がある。

姫城地区健康増進事業

健康づくり



取組地域：姫城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：330,000円（基金活用額 330,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 高齢化が進む中、姫城地区においても高齢者の生きがいづくりや健康対策は喫緊の課題となっている。
- 令和2年度地域活性化事業で、スカットボール一式を高齢者クラブ4団体に配備したが、スカット台が改良されたスカットボールIIが発売され、他地区とのスカットボール交流大会等にも対応させたい。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- スカットボールIIのスカット台を3台購入し、引き続き高齢者の生きがいと健康増進を図るとともに、他地区との交流大会等にも対応可能となった。
- 類似競技でパークゴルフ等もあるが、スカットボールはどこでも（自治公民館等）できる為、雨天時や場所移動等に困らない利点がある。

今後の課題・アドバイス等

- 今後さらに姫城地区の各自治公民館での活用を進めていきたい。

姫城地区健康増進事業(パークゴルフ)



健康づくり

取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,242,780円（基金活用額 1,232,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

○高齢化が進む中、姫城地区においても高齢者の生きがいづくりや健康対策は喫緊の課題となっている。

○姫城地区では、まちづくり協議会でもパークゴルフ大会を開催しているが、参加者が50名を超えることもあり、パークゴルフ場のレンタルクラブだけでは対応できないことも想定される。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○パークゴルフクラブと専用ボールを42セット購入し、姫城地区パークゴルフ大会を実施するとともに、パークゴルフを推進している。

今後の課題・アドバイス等

○道具が多いため、保管場所を含め、管理を十分に行う必要がある。

○今後、補充等について関係者と協議の必要あり。

健康づくり支援事業

健康づくり



取組地域：五十市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：五十市地区まちづくり協議会

事業費：386,716円（基金活用額 386,716円）

問合せ：☎23-2184

課題・取組の概要

- コロナウィルス感染が拡大し、自治公民館活動が停滞している。ウィルス拡大防止に努めなければならない。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- コロナウィルス感染拡大防止の意識向上のため、令和2年度に調達した血圧計とともに自治公民館の集会等で住民自身により体温、血圧を測定していただく。

今後の課題・アドバイス等

- 当面のコロナ対応だけでなく、将来的にも住民の健康意識向上のため集会を開催するたびに自治公民館長等のリーダーが音頭を取って測定することが重要である。

軽スポーツ交流事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：270,706円（基金活用額 247,820円）

問合せ：☎25-2257

健康づくり

課題・取組の概要

- 高齢者と幼稚園児等がカロリング、輪投げ等で世代を超えた交流を行っていたが、保育園児と高齢者がともに楽しめる種目が少なく、新たな競技種目を模索していた。
- フープディスクゲッター、ドッヂビー、室内グラウンドゴルフ等を購入することにより、競技種目を増やし、交流の継続と内容の充実を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 使い方が簡単ですが心配が少ない道具を選択した。
- 社会福祉協議会に管理を依頼した。
- 世代間交流事業や高齢者体育まつりで活用している。

今後の課題・アドバイス等

- 管理を社会福祉協議会に依頼していたが、体育協会に移行することで、さらに利用しやすい環境を整えた（体育館に保管できる）。

健康づくり環境整備事業

健康づくり



取組地域：沖水地区

取組年度：令和6年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：1,177,000円（基金活用額 885,490円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 地域住民の健康づくりに取り組むため、誰でも手軽に取り組めるスカットボールを導入した。
- スカットボール11セットを購入。各自治公民館に1セット配備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各自治公民館にスカットボール用具の配置希望を聴取し、11地区の自治公民館に配備した。

今後の課題・アドバイス等

- こけない体操後の利用など、住民の健康づくりに対する意識の高揚につなげたい。
- スカットボールセットは各自治公民館で管理

高城地区健康づくり活動支援事業

健康づくり



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区健康づくり会

事業費：188,320円（基金活用額 188,000円）

問合せ：☎58-5145

課題・取組の概要

- 本会は、運動習慣のない高齢者等を対象に健康づくり活動を概ね月1回、年間を通じて行っている。
- 定期的に研修会や健康体操等の活動を実施し、集落の「こけない体操」や「ニュースポーツ教室」等に積極的に参加し、集落の健康づくり活動を側面から応援してきた。
- 高城地区健康づくり会が、連帯感をもち、積極的に高齢者等の健康づくり活動を応援することを目的に、会員が着用するTシャツを整備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 本事業を実施し、高齢者等の健康づくり活動を更に推進することで地域活性化を図ることができた。

今後の課題・アドバイス等

- 今後、更新時期に備えた財源確保が必要

健康づくり増進事業

健康づくり



取組地域：高崎地区

取組年度：令和3年度

事業主体：高崎地区体育協会

事業費：232,320円（基金活用額 232,320円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 高崎地区的グラウンドゴルフ競技は盛んであり、令和3年6月末時点での競技登録者は91名で、全国大会の出場経験を持つ競技者も存在する。
- これからの生涯スポーツの推進と未経験者への競技普及促進のために、グラウンドゴルフセット4組を購入

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 競技登録者の利用の他、高崎地区内のスポーツイベントにおいても貸出しを行っており、地域住民の健康増進に寄与している。
- 用具の貸出しについては、高崎グラウンドゴルフ協会で管理を行っている。

今後の課題・アドバイス等

- 消耗品であり、修繕や更新費用が必要となる。

三世代交流事業(ステージ・テント他)



取組地域：姫城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：2,819,000円（基金活用額 2,819,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 地域内の交流や高齢者から子どもまでの幅広い年齢層の交流などを目的に、姫城地区では三世代交流イベントを開催しているが、メイン会場にステージ等がない。
- テントは旧式で非常に重く、設営にも苦慮している状況であった。

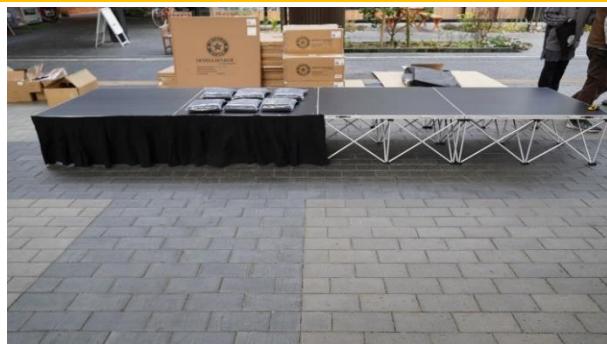
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 姫城地区の三世代交流イベントは、地域内の子ども達に自分の住む地域の良さを再発見する機会となっている。
- 急な小雨でも、テントを購入したため開催することができた。

今後の課題・アドバイス等

- 三世代交流イベントは、今後は更に、多くの参加者を目指す必要がある。
- 三世代交流となるよう、幅広い年齢層の方に参加されやすい魅力あるイベントを計画する必要がある。

三世代交流事業(ステージ・スカート)



取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,126,400円（基金活用額 1,126,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

○地域内の交流や高齢者から子どもまでの幅広い年齢層の交流などを目的に、姫城地区では三世代交流イベントを開催しているが、メイン会場にステージ等がない。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○今回は、令和5年度に購入したステージとスカートについて、追加購入したものである。

○姫城地区の三世代交流イベントは、地域内の子ども達に自分の住む地域の良さを再発見する機会となっている。

今後の課題・アドバイス等

○三世代交流イベントは、今後は更に、多くの参加者を目指す必要がある。

○三世代交流となるよう、幅広い年齢層の方に参加されやすい魅力あるイベントを計画する必要がある。

ふれあいまつり活性化事業



取組地区：妻ヶ丘地区

取組年度：令和6年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：286,000円（基金活用額 286,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

○平成30年度に、妻ヶ丘地区の地域文化及び賑わいの創出のため、「ふれあいまつり」で使用する展示パネル70枚と連結ポール80本を購入して活用している。これまで、「ふれあいまつり」は、上長飯小と東小の体育館を交互に会場としてきたが、地区公民館の建て替えにより、会場は地区公民館に固定することになりパネルとポールの収納と移動がし易いよう台車を購入する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○台車を4台購入し、パネルとポールを台車上で保管を行い、倉庫からの出し入れも容易にした。
 ○まち協主催の「ふれあいまつり」での作品展示のほか、自治公民館主催事業やまち協傘下の団体のイベントや研修等での展示に利用してもらう。
 ○台車ごとに設置場所に移動できるので、作業時間も短縮でき、様々な場での活用が期待される。

今後の課題・アドバイス等

○他の団体に対し、パネルと台車のセットでの貸出しを行うことで地域の活性化に役立てる。

祝吉地区タイムカプセル開封事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和5年度

事業主体：祝吉地区社会教育関係団体等連絡協議会

事業費：770,000円（基金活用額 770,000円）

問合せ：☎23-2890

課題・取組の概要

- 1993年に当時の祝吉地区元気づくり計画委員会が「あやめの里づくりタイムカプセル」を早水公園内に設置し、住民らが30年後に向かた思い出の品等を収納した。タイムカプセルの銘板に「2023年11月 祝吉地区社会教育関係団体等連絡協議会 開封」との記載があるため、カプセルを開封し、物品を返還するもの。
- 業者に依頼してタイムカプセルを開封し、収納物を取り出し保管。その後、住民に返還するための準備等を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 2023年11月3日に開催した祝吉地区ふれあい文化祭に合わせて、開封式を住民参加のもと式典として開催し、収納物を本人に返還した。各種物品を収納した当時の住民自らが式典に参加した。また、収納物は文化祭で展示を行った。
- タイムカプセル本体については解体撤去し、跡地を整地し、原状回復した。

今後の課題・アドバイス等

- 収納物を返還し、住民には大変喜ばれた。また、返還に伴う式典を開催する事により郷土愛と連帯感の高揚を図り、住み良いまちづくりの原動力とすることができた。
- 収納物を返還するための周知が徹底しなかったため、式典終了後も問合せが相次いだ。返還についての周知方法等を考慮する必要があった。

イルミ&アートフェスタ開催事業



取組地域：五十市地区

取組年度：令和3～6年度

事業主体：五十市地区まちづくり協議会

事業費：4,967,108円（基金活用額 4,925,000円）

問合せ：☎23-2184

地域イベント

課題・取組の概要

- 地区の特色の一つである「桜通り」（県道都城隼人線）で歩行者天国を実施しようと、協議会の発足直後から検討が重ねられてきた。
- しかし交通量の増加で実施が困難となり、代替案としてライトアップやイルミネーション等の検討を重ねた結果、イルミネーションと絵画や竹灯籠のアート作品を展示し、地域への愛着を深め、活性化につなげようと今回の実施に至った。
- 令和3年度：令和4年3月12日（土）～21日（月）
令和4年度：令和5年3月11日（土）～20日（月）
令和5年度：令和6年3月9日（土）～17日（水）
令和6年度：令和7年3月8日（土）～16日（日）

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「桜通り」で実施するため、開催時期は開花の頃とした。
- 住民による手作りを基本として、絵画は地区内の学校、保育園等が作成。灯籠は地元の高校生に作成を依頼した。またイルミネーションの電源供給も地元の協力を得ている。

今後の課題・アドバイス等

- 10年間は毎年継続する考え方で取り組んでいる。
- 集客、駐車場確保、展示面積や参加住民の拡大等が課題であり引き続き改善、努力したい。

横市地区もちお公園夏まつり事業



地域イベント

取組地区：横市地区

取組年度：令和5年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：2,267,907円（基金活用額 2,212,530円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区では夏季に地区全体で行うまつりがない。
- 母智丘公園は夏季に利用者が少ない。
- 子どもたちの夏の思い出づくり、舞踊教室等の発表の機会の創生、横市地区の連帯感の醸成等を目的にする夏まつりを実施する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 横市地区全域から灯ろうの出展を募り、参加型のまつりにした。
- 企画は業者を交えて協議し、子どもが出演するプログラムを中心に構成し、集客を図った。
- 音響、司会者等は専門家に委託した。
- 初回はまちづくり協議会が主催し、備品の整備等を行うが、2回目以降は新たな主催者を立ち上げて開催する。
- 想定以上の集客があり、大いに盛り上がるまつりとなった。

今後の課題・アドバイス等

- 想定以上の来客のため、駐車場が不足して、渋滞も発生した。
- 2回目以降の主催者を予め決めて、協働で開催できれば、次回につながる。

横市地区まつり支援事業



取組地区：横市地区

取組年度：令和5年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：521,230円（基金活用額 506,660円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 「横市地区まつり」をはじめとする、横市地区で開催する各種祭りの活性化を図るため、祭りで使用する備品及び消耗品を購入
- 横断幕、机、折りたたみす、法被セットを購入

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 準備、後片付けに利便が良いように、「都城もちお桜まつり」、「もちお公園夏まつり」を開催する母智丘公園脇にある母智丘神社の倉庫に保管することとした。
- 備品の保管・管理はまつり実行委員会に委託した。

今後の課題・アドバイス等

- 備品・消耗品の更新時の費用について、基金などの手当をしておく必要がある。

おきみず祭り活性化事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和6年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：1,724,800円（基金活用額 1,724,800円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 新型コロナ感染症の影響によりおきみず祭りの開催が中止となり6年振りの開催となった。
空白期間が生じたことで不慣れな点が多く準備不足等が懸念された。
- 祭り用備品として、アルミ製のテント3張り・タープテント3張り・アウトドアテーブル5台を購入した。
- 祭りの出店会場用の大型テント・家型テント・机・イスをリース対応とした。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 祭りで利用するテント・机・イスをリース対応としたことで役員の負担軽減となり、会場の雰囲気も良くなり、大いに盛り上がった。
- 沖水小学校創立150周年記念式典とおきみず祭りを同日開催することで、保護者と地域住民が一体となって式典を祝うことができた。

今後の課題・アドバイス等

- 祭りの催し内容について検討が必要である。
- 学社融合としてスタートした祭りなので、児童と地域の方との学習支援としての交流方法の検討が必要である。

地域で祝う小学校 150 周年事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和6年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：734,360円（基金活用額 734,360円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 沖水小学校創立 150 周年の記念事業を“住みよいまち沖水”協議会が P T A と合同で行い、地区内に住む小学生と地域住民が一体となって周年をお祝いし思い出に残るイベントを行う。
- 創立 150 周年記念式典日に併せておきみず祭りを同時開催した。

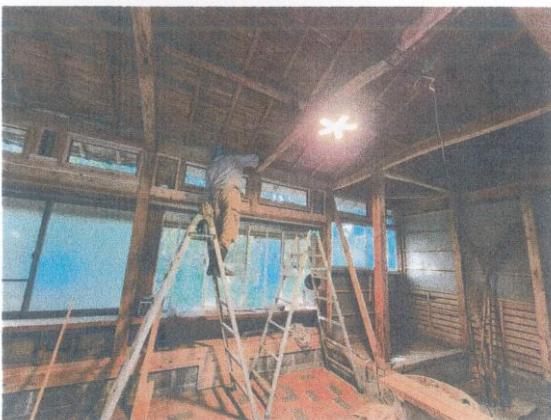
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 記念式典日より前に小学校グランドで児童によるバルーンリリースを実施し、その様子をドローンによる動画撮影・写真撮影を実施した。
- 記念式典と同時に開催したおきみず祭りでバルーンリリースの動画鑑賞を実施した。また、バルーンリリースの状況写真をクリアファイル(A3)見開きサイズに印刷して児童・地域関係者に配布した。

今後の課題・アドバイス等

- 記念式典とおきみず祭りを同時開催したため、スケジュールに時間の余裕がなかった。

西岳地区 kokeonne(こけこんね)プロジェクト事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和5年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：1,128,011円（基金活用額 1,000,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区は超高齢化しており、高齢者の死亡及び施設入所等により空き家が増加し、人口減が深刻な状況となっている。一方、中山間地域である西岳地区への移住希望者は年間数件あるが、空き家の家財処理、補修等がなされておらず、賃借等ができない状況である。
- 本事業により空き家の所有者と地域が無償贈与契約を交わし、譲り受けた家屋を移住希望者の体験施設とするための整備を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 空き家の無償贈与契約には相続者も関係するために、自治公民館長が主体となって動かぬとなかなか前進していかない。
- 「あれもできない・これもできない」から、「あれもしたい・これもしたい」と未来の明るい展望をえがけるようになった。

今後の課題・アドバイス等

- 自治公民館長を主体とした「やる気」が一番重要である。
- SNSを利用した西岳移住情報発信が必要となってくる。

世代間交流支援事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和4年度・令和6年度

事業主体：中郷地区壮青年連絡協議会

事業費：1,128,720円（基金活用額 1,064,000円）

問合せ：☎39-0713

地域イベント

課題・取組の概要

○農作物（サツマイモ）の植付け・収穫・調理までを地区の幅広い世代合同で行うことで食育と世代間交流の支援を図る。

○耕作放棄地を活用し、農地の保全にも寄与する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○サツマイモの植付けや収穫作業を小学生から高齢者まで、多くの地域住民が一緒に体験することで、世代間交流が図られた。

○収穫作業後には、収穫した芋を使ってガネ、さつま汁、芋ご飯を調理し、郷土料理を楽しんだ。

○食事後に参加者全員でクイズ・ゲームを行い参加者の交流を深めた。

今後の課題・アドバイス等

○イベントを定着させるため農業に関する知識・技術を持った人材の育成と専用機械の確保が不可欠。

○芋の品質向上と収穫量のアップ

山之口地区人生チャレンジ講演会事業



地域イベント

取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：712,020円（基金活用額 712,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

○本県出身の競泳オリンピックメダリストの松田丈志氏を講師に迎え、世界を相手に戦った体験談をとおして、子どもたちに夢と希望と感動を与える講演会を開催

成果・事業の特徴・工夫したこと

○山之口地区内の小学校5・6年生児童及び中学校生徒全員受講。

○オリンピックの銀メダルを受講者全員が、手に取って触れることができた。

今後の課題・アドバイス等

○今後も小中学生を対象とした各種講演会を実施したい。

山之口地区 SDGs を楽しく学ぶ講演会開催事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：882,450円（基金活用額 862,000円）

問合せ：☎57-3114

地域イベント

課題・取組の概要

- 子ども達が成長していく過程で未来に向けて豊かな世界を築くために、「誰一人取り残さない」という価値観や、「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」を目指す知識や考え方を学ぶことを目的とする。
- 受講者は、地区内の小学校5年、6年生・中学生生徒全員

成果・事業の特徴・工夫したこと

- SDGs や環境問題に造詣の深いマリカ先生を講師に、混沌とした社会を生き抜くために、持続可能な世界を築くため、何をしたらいいのか、何ができるのか自分自身で考え、答えを導き出す方法を紹介していただく。また、講師はマジシャンでもあり、クイズやマジック等を取り入れた講演で、世界や日本が抱える包括的な問題、私たちができることを分かり易く、楽しく学べる講演会を実施

今後の課題・アドバイス等

- 今後も小中学生を対象とした各種講演会を実施したい。

山田地区婚活レクリエーション事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和4～5年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：396,238円（基金活用額 396,238円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 山田町近郊に居住する独身男女の交流する機会が少ない。
- 山田町の良さをアピールする機会が少ない。
- 独身男女の交流会を企画、山田地区の良さをアピール、若者の定住・活性化に結び付ける。
- 【春恋ゴルコン！】に決定
第1部パークゴルフでエンジョイ 第2部B B Qでレクリエーションをしながら交流会

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山田のパークゴルフ場でのレクリエーションと交流会との結び付けは、地域の独自性があり、これからも活用していく。
- 雨天時については、軽スポーツを実施する。（別会場の確保と周知方法）
- 参加者からは、みんな揃って「楽しかった」「また開催して欲しい」との声をいただいた。

今後の課題・アドバイス等

- 参加者を増やすための効果的な広報及び周知
- スタートが遅くなり、募集告知の期間が十分に取れていなかった。
- 参加者を呼び込む戦略及び市とのマッチング

がんばろう高崎復活祭事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和4年度

事業主体：高崎町商工会

事業費：675,610円（基金活用額 450,000円）

問合せ：☎62-1114

地域イベント

課題・取組の概要

- 新型コロナウイルス感染症拡大により各種イベントが中止となり、地域住民の交流の機会も希薄になってきており、地域活性化への取組ができない状況が続いていた。
- 新型コロナウイルス感染症で影響を受けている地域の商工業者支援のため、WITH・P OSTコロナを見据えた積極的な取組を行うことが必要になっていた。
- 子ども向けイベント（キッズバイク試乗会・うなぎ掴み取り）や地元出演者ステージイベント、トライアルバイクショーなどの復活祭イベントを開催

成果・事業の特徴・工夫したこと

- まちづくり協議会と連携し、新型コロナの感染防止対策を講じて実施
- 集客のため、総額100万円大抽選会と小規模事業者、商工会青年部・女性部の飲食店コーナーと手づくりの雑貨を扱う「橋クラフトアンティーク市」（50店舗以上）を同時開催

今後の課題・アドバイス等

- 開催の目的を達成し、従来からのイベントが再開したため、1回の開催で終了

高崎地区縁結び促進事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和4～6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：1,394,023円（基金活用額 1,300,373円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 高崎地区の人口は、ここ数年で大幅に減少し、少子高齢化が顕著になってきているが、その一方で「出会いの場」を求める多くの独身者がいる。
- 平成26年度から少子化対策と地域の活性化を目的とした縁結び促進事業を実施している。
 - ①たかざき恋物語（集団お見合いパーティー形式の婚活イベント）
 - ②高崎よかにせ研究会（異性との接し方などスキルアップ事業）

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 参加予定の男性に「高崎よかにせ研究会」として、事前に異性との接し方などのスキルアップを図った。
- 令和6年度までに38組以上のカップルが成立し、うち平成27年度以降に成立したカップルの内6組が結婚まで至るなど、成果を挙げている。

今後の課題・アドバイス等

- 今後も毎年事業を継続する予定である。
- 参加者が減少傾向にあり、事業を継続するために参加者の募集方法等を検討する必要がある。

高崎春まつり事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高崎春まつり実行委員会

事業費：1,061,495円（基金活用額 600,000円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

○新型コロナウイルス感染防止のため3年間開催できなかった「高崎春まつり」を、町内各団体で実行委員会を組織し、疲弊した高崎町の商業振興や地域活性化を目的に開催した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○幅広い年齢の方々に参加していただくため、犬譲渡会、軽トラ市、橋クラフトアンティーク市を同時開催

○高崎中学校の生徒ボランティア16名に、当日のまつり運営に協力をもらった。

今後の課題・アドバイス等

○毎年継続して開催する予定であり、令和6年度からはイベント開催費補助金で開催している。

高崎北斗鍋フェスタ事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：1,302,254円（基金活用額 1,083,804円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 平成2年に村おこしの一貫として開発した、高崎地区オリジナルのメニューである、「北斗鍋」を中心としたイベントを開催し、「北斗鍋」を町内外にPRする。
- イベントで使用するカセットコンロと鍋を50セット購入
- 前売りチケットを50組（200名）分販売

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 高崎地区の人も、北斗鍋を再認識するきっかけとなった。
- チケットを購入できなかった来場者に対して、北斗鍋を一杯400円で販売
- 高崎地区以外から17組の参加があり、北斗鍋のPRを行うことができた。
- マルシェの同時開催や、高崎町商工会の商品券が当たる抽選会を実施

今後の課題・アドバイス等

- 開催当日は、開催決定後に小雨が降り始めたため、食材を持ち帰る人が多く、会場内で食事をする人が少なかった。
- 雨天時の対策としてテントの設置を検討したが、予算の都合により設置できなかった。今後は毎年実施予定であるため、雨天時の対応を検討する必要がある。

小松原地区学習サロン支援事業



取組地域：小松原地区

取組年度：令和5年度

事業主体：小松原地区まちづくり協議会

事業費：530,954円（基金活用額 450,000円）

問合せ：☎24-1900

課題・取組の概要

○夏休み期間を中心として、学習サロンを開設する自治公民館が4館あり、開設を計画している自治公民館もある。

○会場となっている自治公民館の学習環境は未整備であり、必要な備品等を整備し、学習環境を整えることにより学習サロンの内容を充実させる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○プロジェクト、スクリーンを地区公民館で保管し、各自治公民館からの貸出要請に対応していく。

○各自治公民館にホワイトボードを設置する。

今後の課題・アドバイス等

○子どもたちの積極的なサロンへの参加を促すような、学習サロンの内容を検討する。

妻ヶ丘地区福祉活動充実事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和4年度

事業主体：妻ヶ丘地区民生委員・児童委員協議会

事業費：357,000円（基金活用額 357,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 「人々に寄り添いながら身近な支援者・相談役」である民生委員児童委員の存在や活動を知ってもらい、地域住民に安心を与え、相談しやすい環境を整える必要があった。
- 民生委員児童委員のユニフォームとしてロゴマーク入りの「ジャケット、Tシャツ」を各32着、のぼり旗50本、横断幕2枚を製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ロゴマーク入りのジャケット・Tシャツを着用することにより、民生委員児童委員であることが一目瞭然となり、のぼり旗や横断幕を活用した周知を行うことで、地域住民が安心して相談し、支援を受けられる環境づくりができた。
- ジャケット・Tシャツは、各民生委員児童委員が責任をもって管理し、のぼり旗・横断幕は妻ヶ丘地区民生委員児童委員協議会が管理

今後の課題・アドバイス等

- 更新について、財源や時期を検討しておく必要がある。
- まちづくり協議会、社会福祉協議会その他関係機関とも連携し、ふれあいまつり、福祉総合研修会、高齢者友愛訪問等の地域活動に活用していきたい。

スマイルカフェ祝吉事業



取組地域：祝吉地区
取組年度：令和3年度
事業主体：祝吉地区社会福祉協議会
事業費：6,477円（基金活用額 6,477円）
問合せ：☎080-2772-9661

課題・取組の概要

○毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。また、事業の対象者として地域で孤立している世帯や生活困窮世帯としている。新型コロナウイルス感染症の影響で例年開催していた集合型の会は中止となる。そこで、弁当配布に変更し、これまでのつながりを絶やさないためにも継続して事業を実施した。また、コロナ感染者が減少傾向にあった10、11月には実行委員会で弁当作りを行い、配食と自治公民館に取りに来ていただくドライブスルー形式両方にて参加者との交流を図った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○毎月訪問し、顔を見て声掛けを行うことで、地域住民とのつながりが継続された。また対象者の家を訪問することで、家庭の様子など把握でき、関係機関との情報共有などを通じて今後のさらなる支援につながった。対象者も毎回弁当配布を楽しみにしてくれており笑顔で迎えてくれ、子どもたちの成長も楽しみとなった。10回実施、計164個の弁当を配布した。

今後の課題・アドバイス等

○弁当配食を中心のため、限られた時間の中で特定の人との関わりしか生まれず、参加者同士の横のつながりなどの希薄化がさらに進んでしまった。来年度は実行委員会の全体会なども開催し、協力機関との連携の強化や参加者の集う場をつくっていきたい。また、現在の参加者は子育て世帯が中心のため、民生委員や第2層生活支援コーディネーターの情報をもとに、高齢者なども事業の対象とする中で、地域でのつながりや居場所づくりを強化していきたい。

スマイルカフェ祝吉事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和4年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：239,244円（基金活用額 224,000円）

問合せ：☎080-2772-9661

課題・取組の概要

○毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。また、事業の対象者として地域で孤立している世帯や生活困窮世帯としている。新型コロナウイルス感染症の影響で例年開催していた集合型の会は中止となる。そこで、令和2年度から弁当配布に変更した。また、年度初めに実行委員会（民生委員児童委員協議会、女性連絡協議会、福祉施設）の全体会を開催し、今年度の取組について話し合い、10月から実行委員会による弁当づくりを実施した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○実行委員会の全体会を開催することで、これまでの取組の振り返りと実行委員会の横つながりが生まれた。また、メニューを話し合いながら決めてることで、季節に応じたものや家庭料理を参加者に食べてもらえるよう工夫した。高齢者の困りごとをつなぐ、第2層生活支援コーディネーターや民生委員の情報提供により、新たな家庭の参加もあり、事業が必要な世帯への支援につながった。5～9月は弁当配食、10～3月は実行委員会による弁当づくりを行い、配食と地区公民館に取りに来てもらうドライブスルー形式で実施した。

今後の課題・アドバイス等

○一昨年度より弁当配食が中心のため、配食者と参加者のみの限られた関係しか構築できていないのが課題である。集合型で開催した際に楽しんでもらえるよう、何がしたいかを参加者に対してアンケートを実施し、これをもとに内容を検討していきたい。

スマイルカフェ祝吉事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和5年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：275,810円（基金活用額 269,000円）

問合せ：☎080-2772-9661

課題・取組の概要

○毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。また、事業の対象者として地域で孤立している世帯や生活困窮世帯としている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度より弁当配食、令和4年度10月からは実行委員会による弁当づくりを実施し配食していた。今年度は状況が落ち着いたこともあり、12月から食事会を再開した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○今年度から地区内で実施している生活・学習支援事業実施団体にも参加してもらい、地域のボランティア団体を支える場としても意義のある事業となった。また、会食再開時には参加者同士の横のつながりも生まれ、およそ4年ぶりの再会に互いに喜んでいる様子がみられた。配食から会食に切り替えるにあたって、参加者が楽しんで参加できるよう、クリスマス会などの季節の行事やゲームなどを用いて交流の時間を大切にした。

今後の課題・アドバイス等

○会食再開になったため、今後はふれあいの時間（遊び体験や製作など）を大切に、季節に応じて楽しめる内容を考えていきたい。また、実行委員の方々の協力が必要不可欠のため、連携を図りながら、ボランティアが活動しやすいよう計画を立てて事業を実施していくたい。

スマイルカフェ祝吉事業



NPO 法人らしくによるかき氷の提供の様子



福さんの家での焼肉の様子

取組地域：祝吉地区

取組年度：令和6年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：275,810円（基金活用額 269,000円）

問合せ：☎080-2772-9661

課題・取組の概要

- 毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。今年度から、休止することなく12回実施することができた。毎月1回実行委員会を開催し、当月の食事内容やふれあい（体験活動）について協議し実施している。
- 今年度は自治公民館や施設、NPO法人に協力をもらい、流しそうめん等様々な形式での会食を実施することができた。地域の子どもから高齢者が参加し、多世代交流の場となっている。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 今年度は参加者がより楽しめるような開催ということで、実行委員の福祉施設に協力をもらい、流しそうめんや焼肉を実施し、好評であった。また、バイキング形式での会食も実施することで、参加者と実行委員会・ボランティアが気軽に会話を楽しむことができた。延べ428名の参加があり、昨年度より1.5倍の人数となっている。背景には地区の生活・学習支援実施団体の参加や友人を連れて参加された家庭等がいたことが考えられ、より地域での居場所として必要な事業となっているといえる。

今後の課題・アドバイス等

- 今後多世代交流の場及び地域共生社会実現のため、参加者とボランティアが互いに交流し、楽しめる場となるよう、様々な機関との連携や内容・参加者呼びかけについて工夫ていきたい。具体的には大学生ボランティアの参加協力依頼や関係機関へのチラシ配布の他、食事を1回50個程度作ることも多いため、実行委員に負担のない数等呼びかけの方法についても協議していく必要がある。

横市地区子ども体験プロジェクト事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：447,934円（基金活用額 403,847円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

○コロナ禍において、子どもたちもあらゆる面で行動の制限を強いられていた。

○見る、聞く、動くなどを子どもたちに体験させたい。

○著名な団体を誘致して劇、スポーツなどを観賞させる。

○観劇(ユニットあんてな)の誘致

○スポーツ観賞・体験(小林秀峰高校体操部)の誘致

成果・事業の特徴・工夫したこと

○観劇及びスポーツ観賞ともにたくさんの幼児、小中学生、一般及び高齢者が観賞でき、貴重な経験ができた。

○中学生のボランティア活動の機会にもなり、貴重な体験の場を作ることができた。

○申込用紙を各戸配付して、事業の周知を図った。

今後の課題・アドバイス等

○誘致団体と小学校等の行事との調整が難しい。

○継続する事業としたいが、実施を提案する団体がない。

横市地区福祉活動充実事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区民生委員・児童委員協議会

事業費：171,182円（基金活用額 170,588円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 地域福祉活動を行う上で、地域の方に一目で民生委員・児童委員であることが分かる様にベスト、ジャケットを備える。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ユニフォームを着ることにより、一目で民生委員・児童委員であることが分かり、地区住民の安心につながり、また民生委員・児童委員さんも地区住民に声掛けがしやすくなった。

今後の課題・アドバイス等

- 次回更新時の予算の確保が課題

青少年育成協議会活動支援事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：205,420円（基金活用額 202,020円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 子ども達の餅つきの体験時に、横市地区公民館の敷地で薪を焚いて行っていたが、薪の入手や調理場所の確保が困難な状況
- アルミせいろ2段セット（ガスコンロ付）を購入することにより、青少年育成協議会活動を支援する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 青少年育成協議会に管理を依頼した。
- 横市地区まつりで活用している。

今後の課題・アドバイス等

- 事業計画書の作成時から、実施までの期間に価格が高騰して、購入物品の数を抑制した。

おきみずえほんステーション事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和6年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：463,296円（基金活用額 463,296円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 地区公民館内に設けられた「たまり場エリア」図書コーナーの書架にある絵本や蔵書が古くなっていた。
- 幼児から小中学生を対象としたそれに応じた図書を購入し、だれでも利用できる「おきみずえほんステーション」として図書コーナーに273冊の図書を整備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 読み聞かせグループと連携して新刊の選定を行い図書購入したことで、児童が興味を持つて聞くようになったとの意見がボランティアからあった。
- 地区公民館に幼児や児童と一緒に来館された方が図書コーナーのえほんステーションに立ち寄って、絵本などを一緒に見る姿が見られた。

今後の課題・アドバイス等

- 読み聞かせグループが図書を持ち出して読み聞かせに活用する場合には、貸出簿での管理をお願いした。
- 図書の整理・管理について、定期的な読み聞かせグループとの情報交換を検討する。

絵本読み聞かせ“志和つ池”事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和3年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会（青少年育成協議会：読み聞かせの会）

事業費：566,536円（基金活用額 565,700円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 志和池地区内の幼稚園、小学校、中学校を対象にボランティアによる読み聞かせを定期的に行っているが、既存の図書が古くなり、破損しているものもあった。
- 各世代に応じた図書や大型絵本、飛び出す絵本を218冊購入した。あわせて保管用の木製本棚等も購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ボランティアグループ内の意見だけでなく、書店と連携を図り、興味を引くような人気のある新刊等も含めて各世代に応じた図書の選定に苦慮し、時間を要した。
- 大型絵本や飛び出す絵本を購入したことにより、聞き手側は、今まで以上に好奇心を持って熱心に聴くようになった。
- 読み手も図書が新しくなったことにより、ボランティア意識の向上につながった。
- 図書区分専用ラベルにより管理しやすい管理簿を作成した。

今後の課題・アドバイス等

- 定期的な新刊の購入によりボランティアのモチベーションを高める必要がある。
- 少子・高齢化に伴い、今後のボランティアの人材確保が重要となる。

西岳地区読み聞かせ事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和4年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：291,896円（基金活用額 290,500円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区の小学校3校を（西岳小学校、夏尾小学校、吉之元小学校）を対象にボランティアによる読み聞かせを定期的に行っているが、既存の図書が古くなり、新しい図書が少なくなっていた。
- 小学生を対象とした図書を97冊購入した。あわせて、保管用の木製本棚を整備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 読み聞かせグループの意見だけでなく、書店・小学校と連携を図り、興味を引くような人気のある新刊等も含めて図書を購入したことにより、小学生が大変興味を持って聞いていとの意見が読み聞かせグループよりあった。
- 読み手も図書が新しくなったことにより、読み聞かせの意欲が上がったとのことである。

今後の課題・アドバイス等

- 小学校の図書と区別するように、地域活性化により購入した本との別管理を依頼することが大事である。
- 西岳地区の超高齢化に伴い、今後のボランティアの人材確保が問題となっている。

福祉活動支援事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和4年度

事業主体：中郷地区民生委員児童委員協議会

事業費：93,500円（基金活用額 93,000円）

問合せ：☎39-0713

課題・取組の概要

- 中郷地区の方々に「住民に寄り添った相談役・支援員」として民生委員・児童委員の存在や活動を広く周知する必要があった。
- 協議会メンバーのユニフォーム（スタッフジャンパー）25着の製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 普段の活動の際に着用し日々の活動において協議会のPRを行う。
- イベント等において着用することで委員間の連帯感・一体感を強めることでひいては地域の福祉向上に貢献した。
- 中郷地区民生委員児童委員協議会にて貸与簿を作成し、委員交替時における適正サイズへの交換や管理を行うようにした。

今後の課題・アドバイス等

- 今後、更新時期に備えた財源確保が必要

からくり玩具チャレンジワークショップ事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：209,000円（基金活用額 188,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 世界最小のティディベアのギネス記録保持者であるからくり人形師で、伝統工芸職人の森音広夢氏を講師に招いて、町内の小学生を対象にからくり玩具のワークショップを開催

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 作品づくりを体験することにより、創造力を高め、ものづくりの楽しさを培うことができた。
- からくり玩具のアート作品を展示し、子どもが触れて体験を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 保護者同伴で実施する場合は、事前に保護者にも周知を行い、早めに募集を行う。

高城地域こども食堂事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3～4年度

事業主体：ばあばの知恵袋さくら

事業費：令和3年度 156,802円（基金活用額 100,000円）

：令和4年度 181,473円（基金活用額 150,000円）

問合せ：☎58-4838

課題・取組の概要

○地域の交流の場の構築と地域の見守り活動及び人材育成を目的として、地域こども食堂を月1回実施

○一人暮らしの高齢者等や子どもを対象に店舗でのカレーの提供や店舗に来られない方のための配達も実施

成果・事業の特徴・工夫したこと

○昔の大家族の食事風景を再現し、世代を問わず好むカレーを軸として、高齢者、子どもと共に食事をする場を提供する。店に来ることが困難な場合は、配達を行うことで地域の見守り活動も行う。単身世帯・高齢者世帯の孤食を防ぐと共に、異世代交流を行うことで人材育成に寄与する。

今後の課題・アドバイス等

○令和3年度は、カレーの提供数量が計画の2倍になり、材料費も60,000円から91,000円に増加している。また、令和4年度において多くの人にカレー等を提供しているので、今後も、衛生面に十分に配慮することが必須である。

社会福祉活動支援事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3年度

事業主体：高城地区民生委員児童委員協議会

事業費：153,726円（基金活用額 153,000円）

問合せ：☎53-1227

課題・取組の概要

- 高城地区の民生委員児童委員が活動する際に着用するジャケットを整備することで、委員の認知度を高め、地域住民が相談しやすい環境づくりを促進する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 近年、地域のつながりが希薄化し、ひきこもりや児童虐待など課題が深刻化している中で、委員の活動が複雑化している。その一方で、社会状況の変化等により、委員の十分な活動が難しい場面もあり、活動しやすい環境整備が求められている。
- 今回、母子世帯や独居高齢者宅等の訪問活動用ジャケットを整備することで、地域住民に委員の活動内容を広くアピールし、理解を深めてもらうものである。

今後の課題・アドバイス等

- 民生委員児童委員は3年間の任期があるが、ジャケットは貸与としているので、適正な管理が求められる。更新する際は、財源の確保について配慮する必要がある。

高城地区社会福祉活動支援事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区民生委員児童委員協議会

事業費：192,500円（基金活用額 192,000円）

問合せ：☎53-1227

課題・取組の概要

- 少子化や核家族化によって地域のつながりが希薄化し、ひきこもりや児童虐待など課題が深刻化している中で、民生委員児童委員の活動が複雑化している。
- 地域の身近な相談相手として、必要な支援を行い、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために様々な活動を続けているが、社会状況の変化等により、委員の十分な活動が難しい場面もあり、活動しやすい環境整備が求められている。
- 訪問活動用ベストを整備することで、地域住民に対して委員の活動内容を広くアピールし、理解を深めてもらうものである。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 民生委員児童委員の訪問活動用ベストを整備することで、活動しやすい環境となり、日々の地域住民の生活状態の情報を適切に把握できるので、福祉活動の推進、地域活性化を図るものである。

今後の課題・アドバイス等

- 更新時においては、財源や時期を検討しておく必要がある。

山田地区地域福祉人材育成研修会事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：298,000円（基金活用額 298,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 高齢化社会が進む中、認知や介護、入所入院等に時間を費やす高齢者も多くなっている。
- いざ身近な親族が要介護状態になった際、その身内は、相談や諸手続等、未経験の対応に追われ混乱、錯綜する。
- 介護保険制度について、研修のテーマを設け、基本から制度利用の手続き、介護認定に応じた介護サービス内容や施設、今後の制度の在り様まで広く深く学ぶ。
- 地域内の要介護者とその家族等の案内人となり、地域福祉貢献の資となる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 6回の研修テーマ ①知ってお得！介護保険の基本、②介護認定って何？、③認知症の理解とサポートのポイント、④家での介護をもっと楽に！在宅サービス紹介、⑤自宅じゃないけど安心！介護施設の生活を知ろう、⑥健康長寿を目指して！介護予防とこれからの取組
- 講師依頼、関係各機関との連絡調整
- 一過性のイベント的研修会と違い、じっくりと深堀した研修を1年通して開催できた。

今後の課題・アドバイス等

- 今後もいろんなジャンルの研修会を企画していく
- 長期間の事業を実施するには、それなりのモチベーションとパワーが必要となり、加えて周囲や関係各位の協力があってこそその事業となる。

小松原地区ホタルの里づくり事業



取組地域：小松原地区

取組年度：令和4～5年度

事業主体：小松原地区まちづくり協議会

事業費：1,184,231円（基金活用額 1,110,000円）

問合せ：☎24-1900

課題・取組の概要

- 志比田地区は自然に恵まれた地域であるが、近年急速に進む宅地化により、自然環境が悪化している。
- 志比田北自治公民館館内には、台地の縁沿いに湧水が湧き出ており、ホタルの生息地となっている。
- 小松原地区内で唯一のホタル生息地の環境を改善するとともに、地域住民への周知を図る。

自然

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 令和4年度：ホタル生息地案内看板設置
都城工業・都城西高等学校の美術部生徒達とホタル壁画を作成
- 令和5年度：ホタルまつりを開催
環境改善のための備品等を整備

今後の課題・アドバイス等

- 地域住民へ環境改善に対する意識付けを図る。
- ホタル生息地として後世まで引き継がれるよう取り組んでいく。

昆虫の森事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口町子ども会育成連絡協議会

事業費：281,642円（基金活用額 280,000円）

問合せ：☎090-5608-4001

課題・取組の概要

○自然を学び素晴らしさや環境保全の大切さを学ぶ。

○地域を学び郷土愛を育む。

自然

成果・事業の特徴・工夫したこと

○夏休みに昆虫の森の保全整備を行い、昆虫採集活動の開催

○自然に触れて素晴らしさ、美しさまた不思議さを肌で体験する。

○中高生のジュニアリーダーが中心となって子ども達の指導を行う。

○昆虫専門の先生を講師に迎え、講義を開催し、フィールド散策採集、昆虫採集の指導・ガイドを行っていただいた。

今後の課題・アドバイス等

○事業が夜間におよぶため、安全面の配慮が必要となる。

○中高生のジュニアリーダーが中心となって子どもの指導

ほたるの里拡大事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和3～4年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：602,500円（基金活用額 602,500円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- ホタルの生育のための環境づくり等を専門家に学びながら近辺の小川や耕作放棄田を整備し、「人・水・生物の共同体」としての自然環境を保全する必要があった。
- 令和2年度の事業で、看板やベンチを設置したが、観察者の安全確保のための整備を行う必要があった。
- ホタル生息地整備（草刈り等環境整備、転落防止柵の設置）を実施
- ホタルの里づくり事業に関するほたる生育環境の勉強会を開催

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 宮崎県環境保全アドバイザーを講師に招き、ホタル生育環境の勉強会を実施し、ホタルの発光、成長過程等の生育、ホタルを増やすための方策の注意事項等を学んだ。
- 毎年、時期になるとホタルを見ることができ、生息環境の維持はできている。

自然

今後の課題・アドバイス等

- ホタルの生息を持続させるために、継続的な環境整備事業が必要である。

島津灯ろう製作事業



取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：95,200円（基金活用額 95,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

○夏の風物詩となっている「島津灯ろうまつり」だが、都城島津の歴史についてもっと子ども達に触れてもらいたい。

○地域の祭りとして定着しているが、更なる参観者を得たい。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○今回、都城島津に由来する「郷中教育」「庄内地理志」に関し、泉ヶ丘付属中及び都城工業高校に灯ろう制作（作画）を依頼したことで、島津の歴史を探求し、都城の再発見をしてもらうことができた。

歴史

今後の課題・アドバイス等

○もっと多くの人に、都城島津の歴史に興味を持つもらいたい。

○他の学校にも広げられないか。

歴史伝承プレート整備事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和4～6年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：1,017,500円（基金活用額 1,017,500円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 志和池地区公民館に掲示してあった志和池の地名の由来である「志の和ぐことこの池のごとくあれ」のプレートが古くなっていたため、令和4年度に後世に引き継がれるような歴史の伝承プレートとして整備した。
- 令和5年度は、同一のプレートを志和池小、丸野小、志和池中学校にも設置した。
- 令和6年度は、伝承プレートだけでは、名の由来がわかりにくいという意見を受けて、補足説明板を製作し、4か所に設置した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 未来への伝承者となる児童・生徒が在籍する学校に設置したことにより、志和池の地名の由来を知らない人が減り、確実に後世に引き継がれることが期待できる。
- 各施設への設置について、行政財産目的外使用許可はなじまないことから、プレートは寄贈することとなった。

歴史

今後の課題・アドバイス等

- プレートは、ステンレス製で半永久的に使えるため、更新の必要はない。

志和池古墳環境整備事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和6年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：488,400円（基金活用額 465,659円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 志和池の宝の一つであり、県指定の「志和池古墳」について、地元の管理が行き届かずには竹が繁茂していたため、周辺への倒竹等の被害が発生していた。
- 管理を容易にするため、竹伐採、搬出、処分を委託により行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 搬出及び処分については、大和フロンティアの協力により無償でできたため、事業費を半分程度に圧縮できた。
- 倒竹等の被害が無くなり、管理も容易にできるようになった。

歴史

今後の課題・アドバイス等

- 地元で定期的に竹伐採をしながら、維持管理していく必要がある。
- 志和池の宝として後世に継承されていくために、認知度アップを図る取り組みや整備が必要である。

菫子野地下式横穴墓群看板設置事業



道路側（大人向け）



校庭側（児童向け）

取組地域：庄内地区

取組年度：令和4年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：283,800円（基金活用額 283,000円）

問合せ：☎37-3488

課題・取組の概要

- 庄内地区で発掘調査された古墳時代の遺跡は、菫子野小学校南側の菫子野地下式横穴墓群に集中しており、現在までに20基が見つかり19基が調査され、当時の貴重な副葬品が見つかっている。
- 現在では調査が終わり、埋め戻されているが、菫子野小学校の校庭に看板を設置し、写真や地図などで発掘当時の様子が分かるようにし、地域の人や児童生徒に伝えていくことを目的とした。

成果・事業の特徴・工夫したこと

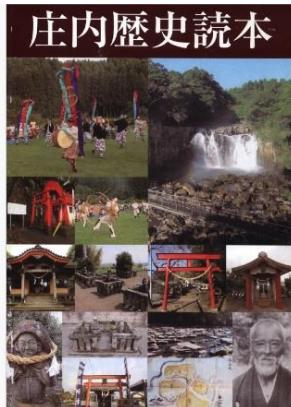
- 菫子野小学校へは看板設置について、了承を得た上で、校庭側は児童向け、道路側は一般向けの説明内容とし、都城市教育委員会文化財課に文面作成を依頼、設置した。

歴史

今後の課題・アドバイス等

- 看板設置により、庄内の遺跡について児童をはじめとし、多くの方に知ってもらい、庄内の歴史に対する意識を高めていく。

庄内歴史読本作製事業



庄内の歴史

地名「庄内」の誕生と移り変わり

私たちは現在庄内地区に住んでいます。庄内地区とは、葉子野町・乙房町・閔之尾町・庄内町の範囲をいいます。しかし、「庄内地区」の地名は、これまでに長い歴史の中でいろいろな移り変わりがありました。明治時代に入る迄は、「安永村」といって、その中に「南川内村・北前川内村・西嶽村・中霧島村」が入っていました。当時の「安永村」には現在の庄内・西岳・中霧島が入っていました。また、その頃、現在の閔之尾町は西嶽村の中に含まれていました。江戸時代の頃は「庄内」という、都城盆地全体をいっていました。

明治3年（1870）正月に都城が分割されて、上庄内・下庄内・三俣の三ヶ郷が設置されます。そして同じ年の3月に安永村が上庄内郷に属します。その時、西嶽村の一部であつた閔之尾と川崎を安永村に入れ、これに南前川内と北前川内を合わせて一つの村としました。この時、中霧島村は別になっています。

明治5年の廢藩置県によって、上庄内郷を「庄内郷」、下庄内郷を「都城」としました。ここで初めて「庄内郷」ができました。そして、明治21年（1888）の全国的に行われた「市制町村制」によって「庄内村」という「庄内」の名をつけた行政村が誕生しました。この

取組地域：庄内地区

取組年度：令和5年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：1,100,000円（基金活用額 1,100,000円）

問合せ：☎37-3488

課題・取組の概要

- 第1期活性化事業（平成28年度）で、地区内の史跡巡りを行っている庄内中学校1年生向けに、歴史や文化についてまとめられた冊子を1,000部作成し、事前に配布していた。
- 今回、初版作製した読本の配布終了が見込まれるため、内容を一部修正し1,000冊の増刷を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 限られた時間での地域巡見学習だが、事前に配布された読本で歴史や文化について学ぶことで、郷土の歴史への理解を深め、故郷を愛し、誇りに思う気持ちが育まれてきている。
- 毎年、生徒一人ひとりが見聞をまとめた「庄内歴史新聞」を作成し、提供いただいている。
- 地域の史跡を大事にする気持ちが芽生え、地域貢献活動として史跡の清掃活動に取り組むなどの行動につながっている。

今後の課題・アドバイス等

- 第1期の初版作製では9名の委員で編集方針の決定、資料集めや写真撮影、文章執筆、編集会議、校正など2年間の時間がかかった。
- 史跡や民俗芸能など時間と共に状況が変化があるので注意が必要

昔を語る動画作製事業



取組地域：庄内地区

取組年度：令和5年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：930,000円（基金活用額 930,000円）

問合せ：☎37-3488

課題・取組の概要

○庄内地区は都城島津家関係の史跡が多く残り、その歴史は地域住民に脈々と語り継がれ、郷土誌「庄内」の貴重な資料となっている。その昔を知る方々に生きた言葉で語ってもらい、それを映像に記録として残し後世に伝えていく。インタビューし、動画を撮影し、いくつかのテーマごとに15分～30分程度に編集。DVD化し、YouTubeチャンネルに登録し、誰でも閲覧できるようにする。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○テーマ毎にインタビュー形式で語ってもらった。郷土誌「庄内」の編集に携わった方々なので庄内地区の歴史に関する造詣が深く、貴重なお話を聞くことができた。また太平洋戦争の戦前・戦後の生活がどのようなものだったのかも語ってもらった。

○地元のフリーの動画制作業者に委託し、撮影や編集打合せなどの移動経費の見積り縮減につながった。

○YouTubeチャンネルの管理はまちづくり協議会で行う。

歴史

今後の課題・アドバイス等

○紙媒体では伝えることのできない方言や語り口などを動画で残すことができる。

六ヶ村城跡地周辺整備事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和5年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：700,986円（基金活用額 693,000円）

問合せ：☎39-0713

課題・取組の概要

○展望所周辺の樹木が成長したことにより、眺望が阻害されている。

○眺望を良くするために雑木等の伐採除去を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○伐採除去により霧島山と市内が一望できるまで眺望が回復し、今後は来訪者が増えることが期待される。

○また伐採により乗り入れ道に日が差すようになり、これまでの展望所の薄暗いイメージが払拭された。

歴史

今後の課題・アドバイス等

○展望所の手すり・床等に腐食が出始めているため、定期的な点検を実施する必要がある。

○周辺整備事業の継続が不可欠

山田地区史跡環境美化事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和3～5年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：581,628円（基金活用額 581,628円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 史跡周辺の管理が行き届いていない状況や雑草の繁茂により、史跡へ容易にたどり着けないなど史跡周辺の環境美化の必要性がある。
- 史跡の環境美化活動を行い、良好な状態で次世代に引き継ぐとともに、多くの方に山田の歴史に触れてもらう。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- まちづくり協議会が主体となり、山田地区内にある史跡周辺の定期的な草刈りや清掃を行う。
- 階段落ち葉除去、危険倒木の除去を行うことで、史跡に来られる方の安全性を確保した。
- 作業を行う日程調整が厳しく、少人数の参加者になり、清掃に時間を要した。

歴史

今後の課題・アドバイス等

- 日程調整を早い段階から進め、参加者の増加を図る。
- 地区内にある史跡周辺の定期的な草刈りや清掃を行う。

石川理紀之助交流事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和3～6年度

事業主体：山田地域づくり推進協議会

事業費：2,910,320円（基金活用額 2,603,490円）

問合せ：☎64-2105

課題・取組の概要

- 石川理紀之助は明治期に秋田から谷頭村(現在の都城市山田町谷頭)に赴き、農業や生活の指導をした山田町の恩人である。
- この「石川理紀之助の考え方」を教育に生かすため、山田中学校の生徒や地域の関係者が、石川理紀之助の地元である秋田県潟上市の中学校区の生徒や地域の人たちと、隔年毎に訪問の受入れを実施し、交流を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 交流を通して、自分の住んでいる地域への関心を高め、郷土愛や地域での自分の役割を考えるきっかけとなった。
- 生徒が参加するため、実施時期が夏休み等の期間に限定されることや交流内容等、訪問先との細やかな調整が必要であった。

歴史

今後の課題・アドバイス等

- 平成26年から事業を開始しているが、今後の事業継続に当たっては、一部自主財源の確保も視野に入れながら、実施方法等の検討を行う時期に来ている。
- 遠隔地の為、リモート会議やWebオンライン会議の活用に取り組む。

山田地区ふるさと探訪マップ発行事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：452,002円（基金活用額 451,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 第1版頒布から3年が経過し、住民に本探訪マップの周知が図られたが、地域内外より追加掲載の要望を受けた史跡等もある。前回は折込1面で広げて行動しにくいとの声も。
- 地域住民がふるさとの「歴史と文化」を学ぶことでふるさとに愛着を持つとともに、山田出身者や来訪者に頒布し、山田地区の魅力を広く発信する。
- 令和6年度に探訪マップを6,000部発行 A4サイズ カラー冊子式（全24ページ）

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 以下のように様々な用途に使用する予定である。
 - ・山田地区内全世帯・地区内集客施設等配布
 - ・地区内外の児童生徒の地域学習等での配布活用
 - ・地区外、県外移住者等への頒布
 - ・まちづくり協議会事業イベントでの活用
- 自公連、掲載関係者、小学校、外有識者、地域住民など幅広く情報収集を行った。

歴史

今後の課題・アドバイス等

- 掲載内容が多くなり、当初の予算では6,000部作成が厳しくなり、まち協予算を充てた。
- 適正な在庫管理と不足時の増刷予算の確保が必要になる。

木場城史跡公園環境整備事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和5年度

事業主体：木場城活性化委員会

事業費：840,000円（基金活用額 840,000円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 木場城山頂にある木造の展望台は、老朽化が進み、使用できない状態にあった。
- 史跡公園となっている木場城跡の観光資源としての価値を高めるために、展望台の改修工事を実施して、利用可能な状態に復元する必要があった。
- 腐食した木材部分の解体及び建築工事、部材の塗装工事（防腐処理）、屋根瓦の葺き替え工事を実施

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 展望台がある頂上には、車や重機が登れないため、資材の運搬を人力作業で行った。
- 地域の幼稚園や小学校が遠足等で訪れることがあり、展望台の利用ができるようになったことで、360度展望の素晴らしい景色を展望できるようになった。
- 施設を快適に利用できるように、木場城活性化委員会が草刈等の作業を毎年実施

歴史

今後の課題・アドバイス等

- 利用者を増やすために、施設の認知度アップに取り組む必要がある。

「中町祇園山車」伝統芸能存続事業



取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,589,500円（基金活用額 1,589,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 姫城地区の伝統行事である「祇園山車」は、現在、中町と上町のみとなったが、中町は少子化、保存会の方々の高齢化が進み、活動休止中となっている。
- 山車の老朽化も進んでいる状況である。

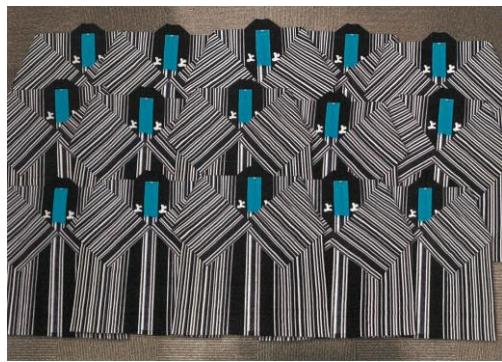
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山車が全面改修されたことで、安心して操作できるようになった。
- 今後、祇園山車の復活に向けて、保存会と姫城地区まちづくり協議会が一体となって活動予定

今後の課題・アドバイス等

- 一度休止しているため、中町の保存会が復活できるか不安である。
- 伝統行事であるため、子ども達にも広くこの行事を受け継ぐ必要があるため、三世代交流等で活用できないか検討の必要あり。

伝統行事「祇園山車」存続事業(上町)



取組地域：姫城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,499,300円（基金活用額 1,499,000円）

問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 姫城地区的伝統行事である「祇園山車」は、現在、上町と中町のみとなった。
- 中町は少子化や保存会の方々の高齢化が進み活動休止中で、活動を行っているのは上町のみとなった。
- 山車の老朽化も進んでいる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山車が全面改修されたことで、安心して操作できるようになった。
- 山車の改修に合わせ、着物や法被も新調したことで、楽しくやる気を持って活動することができた。

今後の課題・アドバイス等

- 今後も活動が続けられるか、不安な要素もあり、見守る必要がある。
- 今後も続けてもらいたい伝統行事である。

VR ゴーグル整備事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：411,400円（基金活用額 359,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 人形浄瑠璃、弥五郎どん祭りなど伝統芸能をデジタル化しており、これまでに制作した映像や人形の館、弥五郎どんの館のバーチャルツアーを仮想体験できるよう、VRゴーグルを整備する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 文化や観光案内、教育にも仮想現実空間で体験することができる。
- 将来的には、防災啓発映像も制作し、防災の仮想体験として活用する。

今後の課題・アドバイス等

- 観光案内や小中学校の教育に役立てる。

山之口弥五郎どん祭り保存伝承事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口弥五郎どん祭り保存会

事業費：220,000円（基金活用額 220,000円）

問合せ：☎57-3732

課題・取組の概要

- 弥五郎どんの衣装は、新調してから12年が経過し、シミなどが目立ってきていたため新調する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 先人から大切に保存・継承されてきた伝統文化行事である。弥五郎どん祭りを新調した衣装で行った。

今後の課題・アドバイス等

- 「保存」・「継承」していくことの重要性を広く理解していただく。
- 衣装は再度新調が必要となるため、更新費用の財源確保が課題である。

山之口地区ふれあい民俗芸能祭開催事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：1,018,600円（基金活用額 1,011,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 数多く貴重な民俗芸能が残されているが、高齢化などにより伝統文化が途絶えようとしている。
- 後世に伝え残していくことは、非常に重要な課題である。
- 民俗芸能等を発表する場を設け、活性化の促進、継承を目的とした。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 町内各小学校で保存伝承されている民俗芸能を披露
- 山之口中学校の吹奏楽部の発表など幅広い交流を図った。
- 宮崎花ふぶき一座に出演をいただき、座長の宮田わかな様に総合司会をお願いし、民俗芸能祭を演出していただいた。

今後の課題・アドバイス等

- 今後、高齢化、後継者不足が見込まれるので、事業をどのように開催するか検討が必要である。（毎年実施・数年おきに実施等）

高城町史等書籍電子化事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：743,853円（基金活用額 743,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

- 平成元年に発刊された高城町史及び創刊から27年目となる「日和城」を、電子化して保存することにより、重要な資料を後世に伝承する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 紙ベースの「日和城」の創刊号等は、破損や汚れがあり、適正な管理を必要としていたが、DVD等にデータを保存することで、管理が容易になり、検索機能を活用することで使いやすくなった。

今後の課題・アドバイス等

- 事業完了後にDVDを公民館や公共施設に無償で配布した。今後も多くの方々に利用してもらうために各種会合等で周知する必要がある。

まちづくり協議会 PR 事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和6年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：142,000円（基金活用額 142,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 妻ヶ丘地区まちづくり協議会は、ふれあいまつり、自治公民館対抗スポーツ大会や健康講座など様々な事業を開催し、地区の活性化に努めているが、まちづくり協議会の存在が地区住民全体に認知されているとは言えず、まちづくり協議会を知らない人も多い。
- まち協とふれあいまつりののぼり旗を作成し、各自治公民館に配布して敷地内に立てもらい、住民への周知を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 妻ヶ丘地区のシンボルマーク、イメージキャラクター「つまっぽ」及びキャッチフレーズを印刷した「まち協」と「ふれあいまつり」のぼり旗をそれぞれ40枚と30枚作成し、各自治公民館に配布した。
- 各自治公民館及び地区公民館に、のぼり旗を掲出することにより、公民館利用者に「まち協」と「ふれあいまつり」を認識してもらい、認知度アップにつなげる。

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗の更新に係わる費用を計画する必要がある。

祝吉地区文化活動活性化事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和4年度

事業主体：祝吉地区まちづくり協議会

事業費：6,278,140円（基金活用額 6,278,000円）

問合せ：☎23-2890

課題・取組の概要

- 祝吉地区では例年11月に「ふれあい文化祭と福祉ボランティアまつり」を開催している。その際、各種展示物を掲示するための展示パネルを中央公民館から借用していた。
- 中央公民館所有の展示パネルは老朽化しているため、運搬や設置を行う際に細かな配慮が必要であった。また借用時期が他地区的イベント等と重なることから借用から返還までの日程調整にも苦慮していた。
- 地区内の各種イベントのために大型パネル100枚、支柱120本、専用台車10台を購入し、活用を図るもの。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 展示パネルを購入し、常備することにより、各種イベント時に迅速に対応できる。
- パネルは重量があることから運搬に係る負担が大きく、役員等の高齢化により年々困難な作業になりつつあったが、解消することができた。
- パネル等を保管するための十分なスペースが必要であったため、祝吉地区公民館内の倉庫を整理し、安全に取り出すことが可能な場所を確保した。

今後の課題・アドバイス等

- 展示パネルは、地区内の各自治公民館や小中学校、商業施設等で行われるイベント開催時に、要請があれば貸出しを行い、地域活性化に寄与することとする。

まちづくり物品庫整備事業



取組地域：五十市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：五十市地区まちづくり協議会

事業費：3,460,000円（基金活用額 3,460,000円）

問合せ：☎23-2184

課題・取組の概要

- 地区公民館の既存倉庫は地区公民館事業、まち協事業それぞれで使用する備品で占められており、これ以上の保管はできない状況である。
- まち協の備品を一元管理する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 3者見積を実施
- 次年度より、管理台帳を整備して適正に管理していく。

今後の課題・アドバイス等

- 地区公民館敷地を使用貸借契約により建築するため土地所有者と事前協議の上、建築確認申請が必要となる。地目が農地等の他法令が関係してくる場合があったりするので、予算確保後に手戻りが生じないよう建築課、農業委員会等関係各所と慎重に、時間的余裕を持って事業を進める。

横市地区まちづくり協議会ホームページ作成事業

Home 横市ガイドブック目次 横市地区の戦前・戦後展 目次 お問い合わせ

yokoichi network



横市地区まちづくり協議会ログ
横市地区まちづくり協議会の動き、報告、予定、地域の話題を掲載しています。

横市ガイドブック
地域づくり部会で「横市ガイドブック」を作成。横市地区をより深く理解するため活用してもらえた幸いです。

横市地区の戦前・戦後展
「横市地区の戦前・戦後展」記念誌は、地域づくり部会を中心に約2年間かけて写真や資料を収集した成果を、パネル展示等にしたものと、記念誌としてまとめたものです。

広報よこいち
横市地区まちづくり協議会の動き、報告、予定、地域の話題を掲載しています。

続きを読む 続きを見る

取組地域：横市地区
取組年度：令和4年度
事業主体：横市地区まちづくり協議会
事業費：200,000円（基金活用額 200,000円）
問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区まちづくり協議会は「横市ガイドブック」、「新横市十二景」、「横市地区の戦前・戦後展」等価値のある情報を電子データで保有しており、広く公開する手段がないかと模索していた。
- 掲示内容の充実、貴重なデータの公開、閲覧者の増加を図りたい。
- ホームページを作成することで保有情報及び最新の情報を公開する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 既存の情報をジャンル別に分類し、探しやすい構成にした。
- 動画などを随時公開できるように「動画ちゃんねる」を設けた。
- 広報紙にホームページのURLのQRコードを掲載している。

今後の課題・アドバイス等

- 継続して情報公開する体制の構築が必要
- 地域の話題を画像に残す協力者が必要

横市地区青少年健全育成支援事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：286,502円（基金活用額 258,060円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区青少年育成協議会が所有する餅つきの道具などの備品を役員が自宅で保管していた。
- 横市地区青少年育成協議会が主催する行事の横断幕の作成に苦慮していた。
- 横市地区青少年育成協議会に必要な備品及び施設を購入

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 安価で移動可能なコンテナ倉庫を購入した。
- 横市地区青少年育成協議会に管理を依頼した。

今後の課題・アドバイス等

- 将来的にも適当な倉庫の設置場所が確保できるかを考慮する必要がある。

広報宣伝活動充実事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：1,014,618円（基金活用額1,010,523円）

問合せ：☎25-2257



課題・取組の概要

- 広範囲にタイムリーな情報を伝えることは難しい状況にあった。
- 総会などの行事で使う横断幕等を作る手段がなかった。
- ポスターや横断幕等を自ら作成できる大型プリンターを導入するもの。
- まちづくり協議会及びまちづくり協議会加入団体の広報活動の充実を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 行事の際にタイムスケジュール等を大きく掲示できる。
- 講演会、総会等で横断幕、垂れ幕の作成が容易である。
- 地区の敬老会等の横断幕に自治公民館などの団体が活用している。
- こけない体づくり講座などの際に図解した絵などを大きく掲示

今後の課題・アドバイス等

- 維持費が継続して発生する。
- 使用頻度を年間を通して保ちたい（インクの目詰まり防止）。
- 繁忙期の対応が遅くなることが考えられる（まち協所有のパソコンだけにドライバーがインストールされている）。

自治公民館備品充実支援事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：1,281,500円(基金活用額 1,278,508円)

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 自治公民館活動ではこれまで座机が主であったが、最近では、腰・膝の負担の少ない高机・いすを要望する声が多くなっている。
- 折りたたみ椅子・折りたたみテーブルの購入

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各自治公民館の希望を基に備品の配付を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 購入した備品は各自治公民館が管理する。

おきみず文化マップ制作事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和4年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：330,000円（基金活用額 269,500円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 過去に作成した文化マップの在庫がなくなったことや、地域内に新しい施設や道路建設が進むなど、街の様子も変化していることから、新たに文化マップを作成した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地区内の文化資源等をスマートフォンで検索できるようにQRコードをマップに掲載
- 環境対応紙（ストーンペーパー）という水にぬれても破れない紙を採用し、A2両面をA5サイズに折込み製本したマップを公民館加入世帯、小中学校、道の駅都城へ配付
- 掲示用にラミネートしたA2版片面を各自治公民館、小中学校、道の駅都城に配付
- 更にA2版片面をA6に折込み製本したポケット版を小中学校、道の駅都城へ配付した。新たな地域の魅力発見と地域の認知度アップ向上に寄与すると考える。

今後の課題・アドバイス等

- 記載内容の定期的な更新が必要となる。
- 文化マップの活かし方、マップ配布・PR方法

志和池地区開催行事支援事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和3年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：790,240円（基金活用額 790,240円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 近年の温暖化に伴い、屋内外で開催される地区内の六月灯、盆踊り、文化祭、学校行事等での熱中症及び感染症が危惧されていた。
- 各行事に参加される方が、安心・安全に参加できるように熱中症等の予防のためにミストファン4台を購入した。あわせて、屋外開催時の電源確保のため、自家発電機4台も購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 六月灯や学校の運動会の暑さ対策として利用され、非常に喜ばれている。
- 電源確保が困難なところでは、自家発電機を利用してミストファンを利用されていた。また、自家発電機は、ミストファンだけでなく、地区の墓地清掃作業等にも利用されていた。

今後の課題・アドバイス等

- 貸出時に取扱上の注意事項を渡しているが、ミストファン本体が重いため、積み込みや収納の際、扱い方が悪く、スイッチの接触不良が発生して修理（約3万円）したものがあった。今後も同様の事がないよう注意喚起していく必要がある。
- 年度当初に幼稚園、学校、社協連関係団体等に有効活用のお知らせ文書を送付しているが、利用団体が少ない状況である。今後も利用促進のため、周知を図っていく必要がある。

地域ふれあい文化振興事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和3年度・令和5年度

事業主体：志和池地区社会教育関係団体等連絡協議会

事業費：4,018,784円（基金活用額4,012,800円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 毎年11月に志和池中学校体育館をメイン会場に、志和池地区ふれあい文化祭を開催し、芸能発表や出品作品（保育園児から高齢者まで）を展示して多くの来場者で賑わっている。
- 作品展示用の座卓、折りたたみ机・イス、パネル等が老朽化により劣化していた。
- 令和3年度に座卓15台、折りたたみ机70台、折りたたみイス120脚、令和5年度にパネル100枚、ポール62本を購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 文化祭での作品展示用に有効活用され、喜ばれている。
- パネルは、学校の文化祭や志和池水彩画展示会等に、机・イスは、公民館行事等に貸し出して有効活用を図っている。
- 既存のポールで使えるものは活用し、事業費圧縮に努めた。

今後の課題・アドバイス等

- 机の重さは、更新前とあまり変わらないため、もう少し軽量化できれば、運搬しやすくて利用者も増えるのではないかと考える。

新発見パネル整備事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和4年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：2,618,550円（基金活用額 2,618,550円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 志和池の史跡や郷土芸能等の情報発信のため、令和2年度に地域活性化事業で「志和池の宝」のポスターを作成したが、もっと志和池地区内外の人に情報発信する必要があった。
- 「志和池の宝」を屋外用にパネル化し、人目に付きやすい公共施設等（志和池地区公民館、志和池地区市民広場、志和池中央ふれあい広場、志和池校区内小中学校）に設置した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 屋外に設置したことにより、志和池に来訪された方にも目につきやすくなり、「志和池の宝」の情報発信に繋がっている。
- 地元にあまり知られていない「志和池の宝」を地元の人があらためて知るきっかけ作りの一役を担っている。
- 令和2年度のポスターのデータを活用、編集することにより事業費圧縮につながった。

今後の課題・アドバイス等

- パネル設置場所については、各施設管理者と協議し、行政財産目的外使用許可や公園占用許可の必要があり、毎年更新していかなければならない。

まちづくり環境整備事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和6年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：529,551円（基金活用額 529,551円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

○本協議会の既存の倉庫内には、盆踊り大会や文化祭で使用する旧式の重い脚折たたみ高机や折りたたみ椅子を多数格納しているが、置く場所に制限があり、移動が容易でなく、デッドスペースが発生しており、有効活用ができていない状況であった。

○活動に必要な備品等が増加する中、収納率をアップさせるため、今回、必要台数の半分の可動式の机用台車3台と椅子用台車3台を購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○脚折たたみ高机や折りたたみ椅子の移動が容易になったため、備品の出し入れ等が楽になり、収納率アップにもつながっている。

今後の課題・アドバイス等

○今回は、必要な稼働式台車の半分を購入したが、今後の状況によっては、残りの台数も購入する必要がある。

西岳地区文化交流事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和4年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：350,601円（基金活用額 350,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区ではふれあい文化祭・はるおさんげえ・ふるさと探訪・グラウンドゴルフ大会等において地元協力の元に準備を行ってきたが、超高齢化に伴い年々準備も厳しくなってきていた。
- 今後もふれあい文化祭などを継続する為に準備の負担軽減となる備品、簡易大型テント2張・草刈り機2台を購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ふれあい文化祭・グラウンドゴルフ大会などのテント設営時に今までの6名によるテント組立ではなく、2名だけの設営が可能となったので非常に楽になったとの意見が聞かれる。
- 催しの準備段階から何度も気楽に利用できる草刈り機が購入できたので、現場の維持管理状態が大変良くなった。

今後の課題・アドバイス等

- 個人の備品ではないために、乱暴に取り扱わないように毎回注意をして、貸出簿による適正な管理と使用後の目視等による徹底管理をしていかなければならない。
- 他団体でも利用できるように周知を図ってく必要がある。

西岳地区公民館いきいき環境整備事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和5年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：1,434,454円（基金活用額 1,400,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区的自治公民館ではこけない体操・いたみみろ会・市長と語る会・敬老会・室内レクリエーション等の多くのふれあい活動を公民館内で行っているが、西岳地区は超高齢化であり杖を突いて来られたりする足・腰・膝の不自由な方が多くいる。その方が自治公民館で一番困るのはトイレが和式仕様になっていることであった。
- 今回は西岳地区的4自治公民館の和式トイレを腰掛けタイプトイレに変更することにより、高齢者が喜んで安心してトイレに行けて、一層集合しやすい生活環境の充実が図られた。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 今まで地元負担を伴いトイレ改修を行ってきた自治公民館の同意を得なければならなかつた。
- 西岳地区でトイレ改修に取り組める業者が少なかった。

今後の課題・アドバイス等

- 自治公民館によっては分館もある自治公民館が存在しているので、他箇所も検討課題である。
- なるだけ多くの業者に見積りを取っていくと良い。

地域環境整備事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和6年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：4,050,000円（基金活用額 4,050,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区は超高齢化しており、高齢者の死亡及び施設入所等により人口減が深刻な状況となっている中で、降雨時の道路への崩土を行政が対応するまでの応急除去工事、用排水路の大雨前の堆砂除去、環境美化の日の雑物収集除去などで小型タイヤショベルを利用するにより、高齢者を除く少ない自治公民館員で作業対応が可能となってくる。
- 今回は機動性や安定性に優れている小型タイヤショベルを導入することにより、災害発生時の緊急的な道路往来や地区全体の安全が守られて、地区住民の安心につながっていく。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- タイヤショベルが納入され、より多くの人が活用できるように小型特殊運転講習を受けてもらい、免許を取得してもらった。
- 車両を長く維持できるように別事業で車庫を整備し、バッテリーがあがらずにいつでも使用できるように簡易ソーラーパネルも設置した。

今後の課題・アドバイス等

- 管理の徹底と仕様規約を作成して、車両の長期使用を可能としていく。

中郷地区PR事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和5年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：6,215,000円（基金活用額 6,050,000円）

問合せ：☎39-0713

課題・取組の概要

- 歴史的・文化的名所巡り等で中郷地区を訪れる人が気軽に使えるトイレがない。
- 興玉神社内にあるトイレは階段を上ったところにあり、身障者は利用ができない、汲み取り式で衛生上好ましくない。
- 興玉神社北側の駐車場内に公衆トイレを設置する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 車椅子等の体の不自由な方や乳幼児を抱えた方のトイレの利用が可能になった。
- 夜間のトイレ利用が可能になった。

今後の課題・アドバイス等

- 水洗トイレを設置したことによる光熱水費等の負担と定期的な清掃業務の実施
- いたずら等による修繕工事の対応

中郷地区 PR 看板整備事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和6年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：2,339,370円（基金活用額 2,100,000円）

問合せ：☎39-0713

課題・取組の概要

- 中郷地区内に都城志布志道路のインターチェンジが2か所設置されることにより、都城志布志道路を使って中郷地区を訪れる来訪者に対し、地区をPRし、知名度向上と観光振興を図る。
- 既設のPR看板は設置後40年が経過しており、傷みが激しく、表示内容も確認しづらいため、全体的な修繕が必要であった。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 中郷地区をイメージしたシンボルマークを作成し、看板に取り付けた。
- 車から看板が目に入りやすい場所を選定し、看板を設置
- 看板の表示内容を一目で確認できるデザイン・色を配置

今後の課題・アドバイス等

- 暗くても看板の内容を確認できるような仕組み（ライトアップ・蛍光色等）を今後検討
- 作成したシンボルマークの活用

山之口よかとこPRビデオ製作事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和3～4年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：1,606,000円（基金活用額1,606,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 令和3年度、史跡・文化財や名産品・食文化を紹介するPRビデオを製作するため、秋から冬の収録を行い「山之口よかとこお散歩 MOVIE 女子旅編」を製作
- 令和4年度、春から夏の収録を行い、令和3年度に製作した動画と合わせて一年をとおしたPRビデオの製作を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページ、Youtubeで情報発信を行った。

今後の課題・アドバイス等

- ホームページ、Youtubeの周知を行う必要がある。

リモートコミュニケーション事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和3年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：880,935円（基金活用額 880,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- リモートコミュニケーションツールを整備して、各種講演会、学習会、会議実施により支援を行い地域活性化を図り、コロナウィルス禍にあっても事業を推進する。
- 山之口地区まちづくり協議会リモート会議に活用する。（役員会、全体会、総会）

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口地区まちづくり協議会リモート会議を開催（役員会、全体会）
- コロナ禍にあってもリモート会議が開催できる。
- 小中学校の総合的学習と連携し、地域内の歴史、史跡、文化財の学習に活用する。
- パソコン教室等開催する。

今後の課題・アドバイス等

- 適切な管理体制のため、備品台帳を整備し管理を行う。また、経年劣化への対応が必要となる。
- 機材を活用した活動の推進、まちづくり協議会委員の機材取扱方法の習得の必要がある。

山之口よかとこマップ作成事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和3年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：503,800円（基金活用額 503,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 多数の民俗芸能があり、長い歴史と自然に培われた史跡・天然記念物があるが広く知られてない。
- 史跡や文化財、名産品、食文化の地域資源の「よかとこマップ」を作成し、情報発信を行う。
- 町内全戸配布、公の施設に配布し、ホームページで紹介を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 史跡・文化財、名産品、物産販売所や公共施設等をイラスト、写真に分けて紹介
- イラストを使用することで優しくソフトな感じにし、持ち歩きやすいサイズに折り込んで作成した。
- 町内外の公の施設等に配布を行い、広く周知を行った。
- まちづくり協議会のホームページで紹介を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 紹介、PRすることで訪れる人が多くなるため、適切な管理が継続的に必要になる。

山之口 PR パフォーマンスロボット製作事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：1,793,000円（基金活用額 1,738,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 山之口キャラクター3体のゆるキャラロボットに民俗芸能を踊らせ地域の情報を発信
- 将来的には、人形の館・弥五郎どんの館など、観光案内をロボットで実演し、PR活動の多機能化を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 弥五郎どん音頭のデジタルデータを編集フォーマットして、パフォーマンスロボットが踊るようにした。
- みやこんじょ弁ラジオ体操第1を映像等からデータ化して踊るようにした。

今後の課題・アドバイス等

- 適切な管理が継続的に必要である。
- ゆるキャラロボットで、PR活動の多機能化を図る必要がある。

山之口 PR パフォーマンスロボットインテリジェント化事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：423,500円（基金活用額 423,300円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 山之口PRパフォーマンスロボットに人形の館、弥五郎どんの館を案内させ、山之口PR活動の多機能化を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「山之口麓文弥節人形浄瑠璃調査報告書」と「日向の弥五郎人形行事調査報告書」の電子データ化を行った。
- 文化財情報も含めAIアプリケーションを活用し、学習させた。

今後の課題・アドバイス等

- 適切な管理が継続的に必要である。
- ゆるキャラロボットで、PR活動の多機能化を図る必要がある。

山之口地区観光施設バーチャルツアーワークショップ



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：682,000円（基金活用額 648,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 現実の場所をリアルな体験を通じて探索できるバーチャルツアーアプリケーションが可能であるので、VR技術を活用し、デジタル空間でPRを図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 見頃のあじさい公園の写真、映像を利用してバーチャルツアーワークショップを開催

- あじさい公園に実際にいるかのような体験を提供する。

今後の課題・アドバイス等

- 春夏秋冬の風景写真をバーチャルギャラリーに展示し、観賞できるようにする。

- デジタル空間でPRを行うので、利用していただくよう広く周知が必要となる。

まちづくり協議会活動充実事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：599,390円（基金活用額 599,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

- コロナウイルス感染症により、イベント開催時の飛沫防止、また、イベントを積極的に開催するために移動用の放送機器（ワイヤレスアンプ・チューナー・マイク等）を整備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 移動用放送機器を整備したことで、各種団体から貸出しの申込みが多くなり、イベントなどで活用されている。

今後の課題・アドバイス等

- 新型コロナウイルス感染症の拡大が沈静化すると更に貸出しの要望が多くなるので、適正な管理を継続する必要がある。

有水地域活性化事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和4年度

事業主体：有水おもてなし隊

事業費：1,840,850円（基金活用額 1,840,000円）

問合せ：☎080-5603-9016

課題・取組の概要

○過疎化により衰退の一途をたどる有水地域が元気になるようにと、2013年から毎年、クリスマスシーズンになると有水小学校敷地内のモミの木にイルミネーションを装飾する活動を続けている。イルミネーションは、有水のシンボルとして好評を得ているので、事業を継続し、イルミネーションの整備を進めるものです。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○イルミネーションは地域住民から有水のシンボルとして認知され、好評を得ているが、経年劣化によりLEDランプの球切れが多く発生しているので、今後も事業を継続するため、イルミネーションの整備を進めていく。

○LEDランプに換えることで、省エネ、コスト削減の効果が見込まれる。

今後の課題・アドバイス等

○今後、LEDランプの球切れがほぼ同時期に発生し、イルミネーションを更新することになるので、係る費用等について検討する必要がある。

高城地区イベント推進事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：674,146円（基金活用額 674,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

○高城地区では、各種団体によるイベントが多数開催されていたが、新型コロナ感染拡大でイベントの中止や規模縮小の対策をとってきた。

○コロナ収束後に地域の活動を活発化するために、各種団体等が独自のポスターや看板を作成し、集客数増加と事業の充実を図るために大判プリンターを整備する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○本事業を実施することにより、各種団体の事業費縮減の効果が見込まれるとともに、地域活性化を図ることができた。

今後の課題・アドバイス等

○消耗品を含め維持費が継続して発生する。

高城地区ふるさと教育推進事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区青少年育成連絡協議会

事業費：188,320円（基金活用額 188,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

- 高城地区内の各小中学校において、学校別にのぼり旗を制作し、地域との交流活動や学校行事等で活用する。
- また、高城中学校は、高城町の素晴らしさを発信するための観光パンフレットや創作物等を制作し、地域のお世話になっている方へ配付する。今後は、地域の行事、修学旅行でのPR活動などで活用していく。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 事業実施により、次代を担う生徒等が学校別ののぼり旗や観光パンフレットや創作物（うちわ）を製作することで、高城地区に愛着を感じ、地域の素晴らしさを認識できることで、地域活性化に貢献している。

今後の課題・アドバイス等

- 各学校での維持管理と引継ぎを確実に行ってもらう。
- 経年劣化のため定期的な更新、補充が必要となる。

有水地区地域交流活性化事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：ありみずマツリツクル＊プロジェクト

事業費：1,591,103円（基金活用額 1,581,000円）

問合せ：☎58-2311

課題・取組の概要

- 有水地域では、毎年夏まつりを開催しているが、トラックの荷台をステージとして利用している。
- 運送業の2024年問題等でトラックの調達が難航し、代替ステージの手配や追加費用の発生が予想される。
- トラックに代わる簡易ステージを整備することで、このトラック調達の課題を気にすることなく「まつり」を開催することができるようになる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 人力での組み立てが可能な簡易ステージを確保・調達することで、屋外イベント実施が容易となり、イベント開催の負担軽減と、イベント開催による地域交流・活性化が図れる。
- ステージは、人力による組立が可能な1m四方のブロックを組み合わせるタイプを採用することで、ステージの広さを調整できることから、規模や用途に応じて多くの場面で利用できる。

今後の課題・アドバイス等

- 適切な管理体制のため、備品台帳並びに使用簿等を整備し管理を行う。また、経年劣化への対応が必要となる。

山田地区広報誌発行事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和3年度～令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：4,509,257円（基金活用額 4,504,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 山田地区は高齢化率が高く、高齢者のみの世帯や独り暮らしの高齢者も多く、情報が得られず孤立してしまう傾向がある。
- 地域の広報誌「山田いきいき通信」を毎月発行(2,800部)し、各自治公民館長の協力により各戸配付している。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地域の身近な出来事や話題を提供することにより、社会や地域の連帯を生む「絆」がつくられている。
- まちづくり協議会内の地域・広報部会で組織し、製作している。
- イベントの告知や各種サークルの紹介等地域の情報を提供し、有効に活用されている。

今後の課題・アドバイス等

- 今後も継続して発行していくこととしているが、編集委員（公募）が月2回程度集まり、原稿作成、校正及び発送準備等を行っており、委員の負担も大きい。
- 自治公民館未加入者や町外者への情報発信の方法として、掲示施設を増やし、幅広く見てもらえるよう検討していく。

山田地区イベントカレンダー作成事業



2024年1月(曜月) あけましておめでとうございます 令和6年						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2024年2月(曜月)						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

取組地域：山田地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：205,000円（基金活用額 205,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 学校、施設、団体などの行事・イベント情報がまちまちで共有されていない。
- 地区の行事やイベントカレンダーを作成配布することで、地域の住民が情報を共有する。
- 住民参加の意識を高め合い、参加を促し、地域イベントの活性化につなげる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 原稿依頼書を作成し、学校、各団体等に情報依頼するが、回答が遅い。
- 作成時期と情報取得のタイムラグ
- いきいき通信の校正会議の時に、部員にも校正をしていただくことで更に正しい情報を載せることができた。

今後の課題・アドバイス等

- 予算面の問題
- いきいき通信との共有化ができないか。

高崎地区民生委員児童委員活動充実事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高崎地区民生委員児童委員協議会

事業費：208,450円（基金活用額 208,450円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

○高崎地区内の方々に、民生委員児童委員の存在や活動の周知を図る必要があった。

○ジャンパーのデザイン等を企画委員会で検討し、30着（胸面プリント）製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

○統一したジャンパーを着用することにより民生委員児童委員活動のPRを行う。

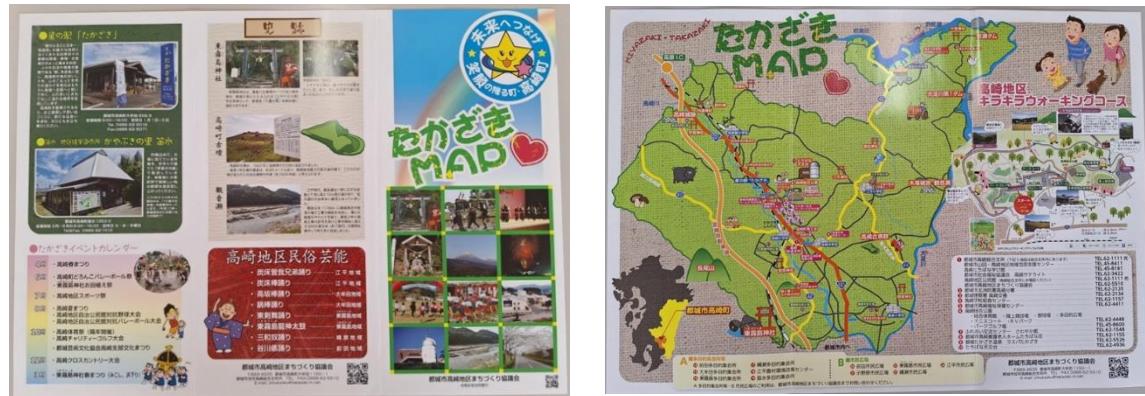
○民生委員児童委員であることが一目でわかり、地区の方も安心して接することができる。

○民生委員児童委員協議会の役員において貸与簿を作成し、委員交替時に対応できるようにサイズの管理を行っている。

今後の課題・アドバイス等

○今後の更新時期に備え、財源確保が必要

「たかざき MAP」リニューアル事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：308,330円（基金活用額 308,330円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

○令和2年度に作成した「たかざきMAP」の在庫がなくなったことと、掲載している内容が現状に合わなくなつたため、「たかざきMAP」をリニューアルした。

○規格（A3 三つ折り カラー刷）で7,000枚製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

○「たかざきMAP」にQRコードを掲載し、高崎地区まちづくり協議会ホームページとリンクさせることにより、ホームページの閲覧を促す工夫をした。

○「高崎夏まつり」に、JR吉都線を利用して来られた町外からの来町者に対して、高崎新田駅構内で「たかざきMAP」を配布

○町内各世帯、星の駅「たかざき」、金融機関、郵便局等へ配布

今後の課題・アドバイス等

○記載内容の定期的な検証、更新が必要

たかざき施設案内パネル設置事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：432,003円（基金活用額 432,003円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 令和2年度本事業で、「たかざきMAP」と連携した地域内の各種施設を紹介するパネルを作成し、多目的研修集会所及び市民広場に設置した。
- 令和6年度事業でリニューアルした「たかざきMAP」と連携した地域内の各種施設を紹介するパネルを作成し、高崎地区内の小中学校や総合支所など11か所に設置した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- QRコードを掲載し、高崎地区まちづくり協議会ホームページとリンクさせることにより、ホームページの閲覧を促す工夫をした。
- 小中学校の校内に設置することにより、児童生徒が地域内の各種施設や史跡、文化財などについて知り、学ぶことのきっかけとなった。
- 高崎新田駅構内に設置し、JR吉都線を利用して来られた方に高崎町をPR

今後の課題・アドバイス等

- 記載内容の定期的な検証、更新が必要

地区別年度別事業一覧

地区	実施年度	事業名	ページ
姫城	5	通学路安全推進事業	1
	5	姫城地区健康増進事業	34
	6	姫城地区健康増進事業（パークゴルフ）	35
	5	三世代交流事業（ステージ・テント他）	41
	6	三世代交流事業（ステージ・スカート）	42
	6	島津灯ろう製作事業	80
	6	「中町祇園山車」伝統芸能存続事業	91
	6	伝統行事「祇園山車」存続事業（上町）	92
小松原	4～5	小松原地区ホタルの里づくり事業	77
	4～6	小松原地区可燃ゴミ集積所整備事業	2
	5	小松原地区学習サロン支援事業	59
妻ヶ丘	4	妻ヶ丘地区福祉活動充実事業	60
	5	妻ヶ丘地区環境整備支援事業	3
	5	妻ヶ丘地区自主防災対策等推進事業	4
	6	環境整備支援事業	5
	6	妻ヶ丘地区環境整備支援事業	6
	6	ふれあいまつり活性化事業	43
	6	まちづくり協議会PR事業	97
祝吉	3	スマイルカフェ祝吉事業	61
	4	スマイルカフェ祝吉事業	62
	5	スマイルカフェ祝吉事業	63
	6	スマイルカフェ祝吉事業	64
	4	祝吉地区文化活動活性化事業	98
	5	祝吉地区タイムカプセル開封事業	44
	6	祝吉地区防災対策環境整備事業	7
五十市	3～6	イルミ＆アートフェスタ開催事業	45
	4	子どもの見守り活動充実事業	8
	4	防災福祉マップ作成事業	9
	4	健康づくり支援事業	36
	6	まちづくり物品庫整備事業	99
横市	4	安心安全な横市まちづくり事業	10
	4	横市地区防災支援事業	11
	4	軽スポーツ交流事業	37

	4	横市地区子ども体験プロジェクト事業	65
	4	横市地区福祉活動充実事業	66
	4	横市地区まちづくり協議会ホームページ作成事業	100
	4	横市地区青少年健全育成支援事業	101
	5	花でふれあう心のまちづくり事業	12
	5	横市地区もちお公園夏まつり事業	46
	5	横市地区まつり支援事業	47
	6	地域安全パトロール隊消耗品整備事業	13
	6	青少年育成協議会活動支援事業	67
	6	広報宣伝活動充実事業	102
	6	自治公民館備品充実支援事業	103
沖水	3	子ども見守り隊活動充実事業	14
	3	防災対策環境整備事業	15
	4	おきみず文化マップ制作事業	104
	5	防災対策環境整備事業	16
	6	健康づくり環境整備事業	38
	6	おきみず祭り活性化事業	48
	6	地域で祝う小学校150周年事業	49
	6	おきみずえほんステーション事業	68
志和池	3	絵本読み聞かせ“志和っ池”事業	69
	3	志和池地区開催行事支援事業	105
	3・5	地域ふれあい文化振興事業	106
	4	新発見パネル整備事業	107
	4～6	歴史伝承プレート整備事業	81
	6	志和池古墳環境整備事業	82
	6	まちづくり環境整備事業	108
庄内	3～6	有害鳥獣対策事業	17
	4	菓子野地下式横穴墓群看板設置事業	83
	5	庄内歴史読み本作製事業	84
	5	昔を語る動画作製事業	85
	5～6	防災対策環境整備事業	18
	5	防犯灯整備事業	19
西岳	4	有害鳥獣対策事業	20
	4	西岳地区読み聞かせ事業	70
	4	西岳地区文化交流事業	109
	5～6	西岳地区生活道路環境整備事業	21

	5	西岳地区 kokekonne(こけこんね)プロジェクト事業	50
	5	西岳地区公民館いきいき環境整備事業	110
	6	地域環境整備事業	111
中郷	4	福祉活動支援事業	71
	5	六ヶ村城跡地周辺整備事業	86
	5	中郷地区 P R 事業	112
	6	世代間交流支援事業	51
	6	中郷地区 P R 看板整備事業	113
山之口	3	非常用携帯無線整備事業	22
	3	山之口よかとこ PR ビデオ製作事業	114
	3	リモートコミュニケーション事業	115
	3	山之口よかとこマップ作成事業	116
	4	山之口地区交通安全・子ども見守り隊啓発のぼり旗作製事業	23
	5	山之口地区人生チャレンジ講演会事業	52
	5	からくり玩具チャレンジワークショップ事業	72
	5	VR ゴーグル整備事業	93
	5	山之口弥五郎どん祭り保存伝承事業	94
	5	山之口P Rパフォーマンスロボット製作事業	117
	6	山之口地区 S D G s を楽しく学ぶ講演会開催事業	53
	6	昆虫の森事業	78
	6	山之口地区ふれあい民俗芸能祭開催事業	95
	6	山之口P Rパフォーマンスロボットインテリジェント化事業	118
	6	山之口地区観光施設バーチャルツアーア製作事業	119
高城	3～4	高城地域こども食堂事業	73
	3	社会福祉活動支援事業	74
	3	高城町史等書籍電子化事業	96
	3	まちづくり協議会活動充実事業	120
	4	高城地域環境整備支援事業	24
	4	高城地区見守り隊支援事業	25
	4	災害時用食事提供資機材整備等事業	26
	4	有水地域活性化事業	121
	5	高城地区交通安全啓発推進事業	27
	5	高城地区自主防災隊資機材整備事業	28
	5	高城地区健康づくり活動支援事業	39
	5	高城地区社会福祉活動支援事業	75
	5	高城地区イベント推進事業	122

	5	高城地区ふるさと教育推進事業	123
	6	有水地区地域交流活性化事業	124
山田	3～5	山田地区史跡環境美化事業	87
	3～6	石川理紀之助交流事業	88
	3～6	山田地区広報誌発行事業	125
	4～5	山田地区婚活レクリエーション事業	54
	4	山田地区地域一体あいさつ&見守り活動啓発推進事業	29
	6	山田地区環境整備事業	30
	6	山田地区有害鳥獣対策事業	31
	6	山田地区地域福祉人材育成研修会事業	76
	6	山田地区ふるさと探訪マップ発行事業	89
	6	山田地区イベントカレンダー作成事業	126
高崎	3～4	ほたるの里拡大事業	79
	3	健康づくり増進事業	40
	4	がんばろう高崎復活祭事業	55
	4～6	高崎地区縁結び促進事業	56
	5	高崎地区見守り活動充実事業	32
	5	高崎春まつり事業	57
	5	木場城史跡公園環境整備事業	90
	6	高崎地区街路灯LED電球更新事業	33
	6	高崎北斗鍋フェスタ事業	58
	5	高崎地区民生委員児童委員活動充実事業	127
	6	「たかざきMAP」リニューアル事業	128
	6	たかざき施設案内パネル設置事業	129



幸せ人々、みやこのじょう
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

発行年月 令和8年1月
発行編集 都城市地域振興部地域振興課
〒885-8555 宮崎県都城市姫城町6街区21号
TEL 0986-23-7146
FAX 0986-21-3034
<http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp>